

Joie™

ECE R129/03 適合

適応身長 40cm から 75cm まで

適応体重 2.5kg 以上 13kg 以下

ジョイー・チャイルドシート

i-Juva™

アイ-ジュバ

取扱説明書 / 保証書



ECE R129:i-Size

JP Welcome to Joie™

ジョイー・チャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、自動車の座席に取り付けてチャイルドシートとして使用することができる、ベビーシートです。

本製品の使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の同乗者の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、手順、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。

本製品は、ECE R129/03 基準に適合した i-Size ISOFIX 対応のチャイルドシートです。自動車の座席に ISOFIX により固定された本製品が対応する ISOFIX ベース(別売)に取り付けて、使用することができます。

ECE R129/03 基準により使用できるお子さまの範囲が定められています。

●身長：40 cm ~75 cm / かつ体重 2.5 kg ~13 kg / かつ生後 12 ヶ月以下

本製品は単体で、自動車の3点式シートベルトで自動車の座席に固定して使用することができます。この場合に使用できるお子さまの範囲は以下の通りです。

●身長：40 cm ~75 cm / かつ体重 2.5 kg ~13 kg / かつ生後 12 ヶ月以下

本書では、本製品の使用方法および本製品に対応する ISOFIX ベースシートの Joie i-Base lx2 への取り付け、使用方法が記載されています。

危険

本書の内容を理解して正しく取り付け・使用すること

誤使用は、思わぬ事故につながるおそれがあります。本書および本製品に表示されている取り付け方法、使用方法を必ず守ってください。本書は必要なときにいつでも参照できるよう所定の場所に保管してください。

取扱説明書の保管

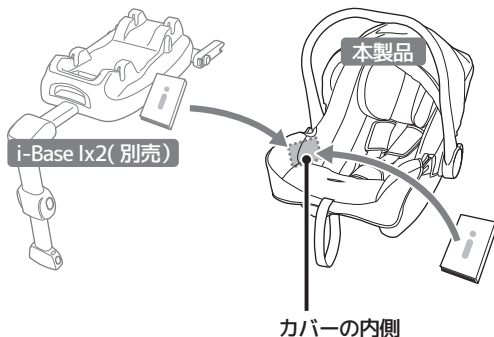
本製品は、チャイルドシートとして使用できるインファントキャリアです。本書には本製品と、本製品を取り付けて ISOFIX により自動車の座席に固定する、別売の Joie i-Base lx2 (ジョイ アイ-ベース ラックス 2) の使用方法 (抜粋) が記載されています。

本書を最後までお読みいただき、内容を十分に理解した上で本製品をお使いください。

本製品をご使用いただく際は、いつでも必要な時に参照できるように、本書を本製品のシートカバーの中に入れておくようにしてください*。

また、Joie i-Base lx2 を使用する場合は、Joie i-Base lx2 の取扱説明書も、併せて本製品のシートカバーの中に入れておいてください。

※本製品は、キャリアとして使用する他、ベビーカーのシートとして使用したり、本製品単体で自動車の3点式シートベルトで固定してチャイルドシートとして使用することができます。

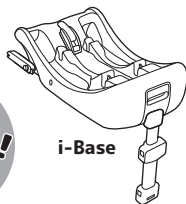


⚠ 危険

本製品は Joie i-Base lx2 にのみ対応しています

他社製品の他、Joie i-Base などの他の Joie 社製ベースシートにも本製品は対応していませんので、取り付け、使用しないでください。

取付不可!



もくじ

はじめにお読みください	5
ユーザー登録のお願い	5
チャイルドシートについて	5
使用に関するアドバイス	6
自動車との適合について	6
緊急時には	6
本製品の重要な情報	7
表記の説明	8
内容物の確認	9
各部の名称	10
使用できるお子さまの条件	13
自動車の座席への取り付けに関して	14
取り付け・使用可能な座席の位置と向き	14
取り付け・使用できない座席	15
3点式シートベルトで固定する場合	19
使用上の注意事項	20
緊急時の操作	33
基本的な使用方法	34
バックルの使いかた	34
ハーネスの長さ調節	36
着脱式クッションの使いかた	38
キャリーハンドルの使いかた	39
キャンピーの使いかた	40
i-Base lx2 (別売) による取り付け	41
i-Base lx2 (別売) の取り付け・取り外し	41
本製品の取り付け	51
本製品の取り外し	56
お子さまの乗せかた	57
3点式シートベルトによる取り付け	60
その他の使いかた	68
ベビーキャリーとして使用する	69
ロッキング・インファントチェアとして使用する	71
ベビーカー用のシートとして使用する	73
お手入れのしかた	82
本製品のお手入れ	82
i-Base lx2 (別売) のお手入れ	94
保管のしかた	96
廃棄のしかた	96
保証書	

はじめにお読みください

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内での使用が認められている ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、適切に使用することにより、**万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。**

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、チャイルドシートにおいて規定される条件に、適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになる自動車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。

常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や緊急事態には、直ちに応急処置を行い、医療機関にご相談ください。

自動車との適合について

以下のホームページに掲載の適合車種一覧においては、本製品のみを3点式シートベルトで固定する場合の適合情報（3点式シートベルトによる取り付け）と、本製品を取り付けた i-Base lx2（別売）を固定できる可能性のある汎用 ISOFIX 固定装置を装備した車種の情報（ISOFIX による取り付け）が記載されています。

それぞれの適合情報は一致するとは限りません（3点式シートベルトでは取付が可能でも、i-Base lx2 での取付は不可など）ので、取付方法に応じて、適合車種一覧を確認するようにしてください。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

緊急時には

事故の際やその他の緊急時には、第一にお子さまの安全を確保し、応急処置を行い速やかに医師の診断を受けるようにしてください。

本製品の重要な情報

本製品は、現時点、以下の ISOFIX ベースに取り付けて使用することができます。

・ Joie i-Base lx2 (ジョイ アイ - ベース ラックス 2)

△ Joie i-Base (ジョイ アイ - ベース) には対応していません。取り付け使用しないでください。

本製品は、ECE R129 基準に適合したチャイルドシートです。i-Base lx2 (別売) 使用時には本製品は i-Size 規格に準じて、自動車の取扱説明書等によって、自動車メーカーが i-Size に対応すると指定する座席に、原則として取り付け使用することができます。ただし、「i-Size 対応」の座席でも条件によっては適切に取り付けできない場合があります。

本製品は、単体で 3 点式シートベルトで固定して使用することができます。

ECE R129 基準の認証によって、自動車の取扱説明書において主としてユニバーサルシートと指定されている座席では、座席の 3 点式シートベルトによって本製品を固定して使用することができます。ユニバーサルシートと指定されていてもすべての車両、座席に取り付け可能とは限りません。適合車種一覧において使用可能と指定されている車種の座席に、本書の指示に従って正しく自動車の座席に取り付けることにより、使用することができます。

疑問点やご不明な点がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店にお問い合わせください。

本製品の材質 : プラスチック、金属、繊維




特 許 : 特許出願中

表記の説明



本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。



危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

チャイルドシートでの使用について

表記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、別売の i-Base 1x2 (ISOFIX ベース) に本製品を取り付けて、ISOFIX で自動車の座席に固定した場合を示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、3点式シートベルトで本製品単体を自動車の座席に固定して使用する場合を示します。

内容物の確認

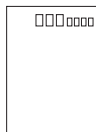
本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本体



本書



ユーザー登録はがき

警告

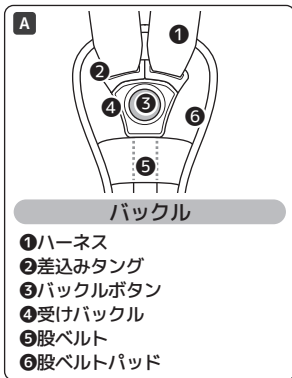
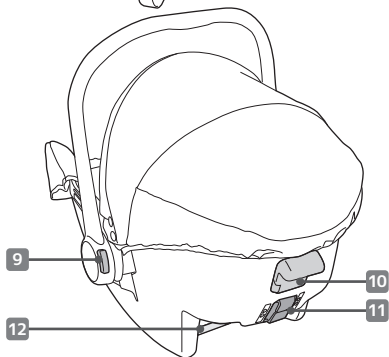
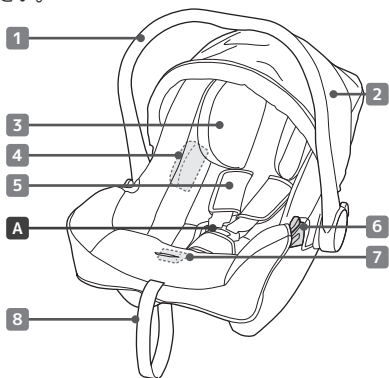
窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

各部の名称

本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



バックル

- ①ハーネス
- ②差込みタング
- ③バックルボタン
- ④受けバックル
- ⑤股ベルト
- ⑥股ベルトパッド

- ① キャリーハンドル
- ② キャノピー
- ③ ヘッドサポート
- ④ 着脱式クッション (左右)※
- ⑤ ハーネスパッド
- ⑥ 腰ベルトガイド (左右)
- ⑦ ベルトアジャスター※
- ⑧ アジャスターベルト
- ⑨ ハンドルボタン
- ⑩ ベビーカーリリースレバー
- ⑪ 肩ベルトガイド
- ⑫ 取り付けバー

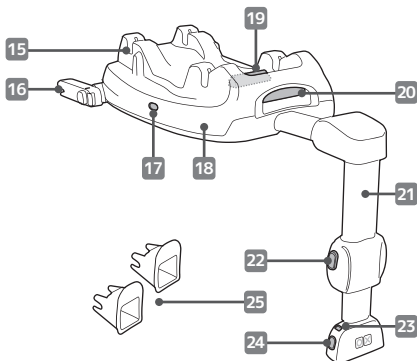
※ 着脱式クッション/ベルトアジャスターはシートカバー内側に内蔵されているため、外側からは見えません。

Joie i-Base lx2(別売)の各部の名称

Joie i-Base lx2 (アイ - ベース ラックス 2) は、本製品を取り付けて使用することができる、別売の ISOFIX ベースシートです。

Joie i-Base lx2(別売)

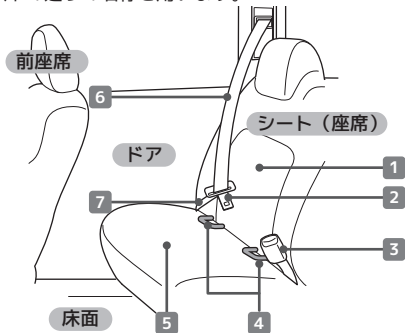
ISOFIX で使用するためには、別売の ISOFIX ベースが必要で、本書では、Joie i-Base lx2 での使用方法を記載しています。



- | | | | |
|----|--------------------|----|-----------------|
| 15 | マウント | 21 | サポートレッグ |
| 16 | ISOFIX コネクター | 22 | サポートレッグアジャストボタン |
| 17 | チャイルドシートインジケーター | 23 | サポートレッグインジケーター |
| 18 | 本体 (i-Base lx2 本体) | 24 | アジャストボタン |
| 19 | スライドレバー | 25 | ISOFIX ガイド × 2 |
| 20 | チャイルドシートリリースレバー | | |

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



ポイント！

自動車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、自動車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

1 (シート) 背もたれ

2 (シート) タング

3 (シート) バックル

4 ISOFIX 固定装置 (ISOFIX 固定バー)

5 シート座面

6 肩ベルト (シートベルト)

7 腰ベルト (シートベルト)

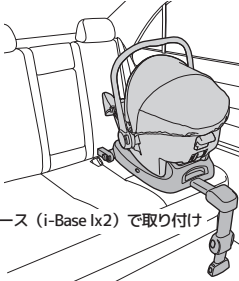
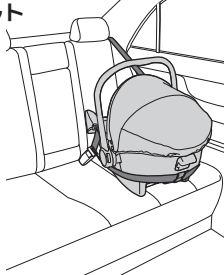
使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は、適合する基準により、身長 40cm（体重 2.5kg 以上の新生児^{*1}）から、身長 75cm まで、かつ体重 13kg 以下（かつ生後 12 ヶ月以下）のお子さまの使用が認められています。

この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

※1：ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

取付方法	適応条件
<p data-bbox="56 429 155 458">ISOFIX</p>  <p data-bbox="56 698 518 728">本製品+別売 ISOFIX ベース (i-Base lx2) で取り付け</p>	<p data-bbox="616 567 963 662">身長：40cm ～ 75cm まで 体重：13kg 以下 (2.5kg 以上) 月齢：12 ヶ月以下</p>
<p data-bbox="56 815 310 844">3 点式シートベルト</p>  <p data-bbox="56 1084 259 1113">本製品単体で取り付け</p>	<p data-bbox="616 953 963 1048">身長：40cm ～ 75cm まで 体重：13kg 以下 (2.5kg 以上) 月齢：12 ヶ月以下</p>

⚠危険

使用条件を守ること

使用条件に満たない、または超えての使用は、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず「使用できるお子さまの条件」を遵守してください。

自動車の座席への取り付けに関して

取り付け・使用可能な座席の位置と向き

- | | |
|-----------|--------|
| ①助手席 | 取付使用不可 |
| ②後列左右ドア側席 | 取付使用可能 |
| ③後列中央席 | 条件付使用可 |
| ④進行方向横向き | 取付使用不可 |
| ⑤進行方向後ろ向き | 取付使用不可 |
| ⑥3列目以降の座席 | 条件付使用可 |

ISOFIX での取り付け使用時

本製品+別売 ISOFIX ベース (i-Base lx2) での使用
後列中央席に汎用 ISOFIX 固定装置が装備されている場合 (一部車種) には、
取り付けできる可能性があります。

3点式シートベルトでの取り付け使用時

本製品単体での使用
後列 (3列目以降) の中央席において、3点式シートベルトを装備した座席の場合
には、取り付けできる可能性があります。



⚠危険

取り付け条件を守ること

上記のシート (座席) 全てに取り付け・使用可能とは限りません。

上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席にのみ、取り付けが可能です。

本製品は、ECE R129/03 規格に対応したチャイルドシートです。

本製品を別売の ISOFIX ベース (i-Base lx2) に取り付けて使用する場合、基本的には自動車の取扱説明書において、「i-Size 対応」と指示された座席の ISOFIX 固定装置に取り付けて使用することができます。ただし、座席の条件等によっては、取り付けできない可能性もありますので、車種適合一覧をご確認ください。

所定の条件を満たした場合、本製品のみを自動車の3点式シートベルトで取り付けて使用することもできます (自動車の取扱説明書においてユニバーサル シート ポジションと指定されている場合)。

いずれの場合も、適合車種一覧において、適合する車種、座席が記載されていますので、あらかじめご確認ください。

取り付け可能な車種は、本製品の取付方法によって同一車種、同一座席でも一致するとは限りません。取付方法に応じて、適合車種一覧を確認するようにしてください。

取り付け・使用できない座席

本製品は、全ての自動車、全てのシート(座席)で使用できるものではありません。また、ISOFIX での固定と、3点式シートベルトによる固定で条件が異なる場合があります。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、自動車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠危険

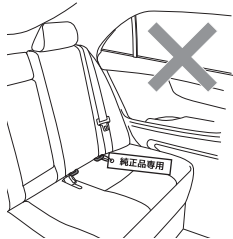
以下に示すシート(座席)では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

ISO

仕様が異なる ISOFIX 固定装置が装備された座席

ISOFIX 固定装置が装備されていても本製品が使用可能とは限りません。本製品を取り付ける ISOFIX ベース (i-Base lx2) の条件に適合する仕様の ISOFIX 固定装置が装備された座席でのみ取り付け可能です。ISOFIX の仕様については、自動車の取扱説明書をご参照ください。

なお、本製品は一定の条件を満たした場合、本製品単体を3点式シートベルトによって固定することも可能です。



ISO

3点式

フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席では使用しないでください。本製品のような後ろ向きチャイルドシートの場合には特に危険です。



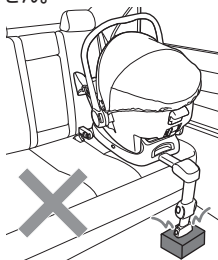
⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

ISO

床面に構造物のある座席

本製品を、i-Base lx2 に取り付けて使用する場合、i-Base lx2 のサポートレッグを自動車の床面に接地させて使用します。このため、床面に収納ボックスなどの構造物がある座席では使用できません。



ISO 3点式

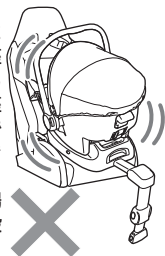
本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

本製品を取り付けることにより自動車の操作に影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け・使用してください。また、非常時や緊急時を想定してあらゆる操作に影響しないことを確認してください。

ISO 3点式

本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、可動操作に干渉する座席、i-Base lx2 のサポートレッグが接地しない座面の高い座席、i-Base lx2 の底面が極端に浮いてしまう座面の低い座席では、チャイルドシートが安定しないため取り付けできません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、チャイルドシートが安定して設置できないことがあります。



⚠危険

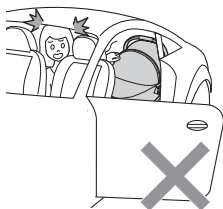
以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

ISO 3点式

同乗者の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の同乗者が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の同乗者が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。

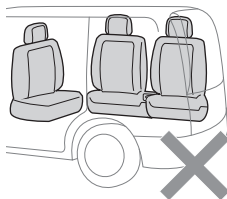


ISO 3点式

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ、取り付けて使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

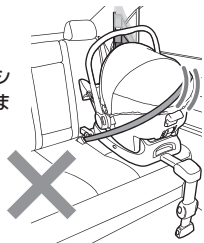
また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、船などの座席でも取り付けて使用できません。



ISO 3点式

パッシュシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシュシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



⚠危険

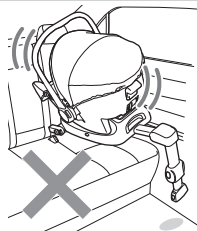
以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

ISO

3点式

その他、しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に動く座席

取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、サポートレッグが接地しない、取り付け作業中に動く座席など、正常に取り付け使用ができない座席では、使用しないでください。



ISO

3点式

本製品の取り付け、使用時に自動車のドアの開閉操作や可動式シートの操作に干渉しないようにすること

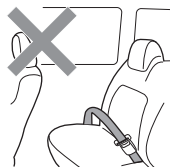
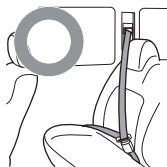
自動車の操作に影響を与えるだけでなく、本製品の破損や、本製品の正しい取り付けに影響をおよぼすおそれがあります。

3点式

3点式シートベルト以外の座席

シートベルトでの固定の場合、座席シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。

必ず、3点式シートベルトの付いた座席で使用してください。



ISO

3点式

適合車種一覧で取付不可とされている座席

本製品は、すべての自動車の座席に取り付けて使用できるものではありません。適合車種一覧で取付不可とされている自動車、座席には取り付け、使用しないでください。ご購入、使用前に、適合車種一覧を必ずご確認ください。

3点式シートベルトで固定する場合

本製品を、3点式シートベルトで自動車の座席に固定する場合、あらかじめ3点式シートベルトの種類を確認してください。

座席の形状、バックルの位置等の条件を満たしている、近年の国産車においては、ほとんどの場合問題なく使用することができますが、3点式シートベルトの種類によっては、正しく固定することができないことがあります。

次の表の説明を参考にして、使用しようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている3点式シートベルトの種類を確認してください。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
ELR 緊急ロック式 ベルト巻き取り装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
AELR チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻き取り装置	通常は ELR として機能。シートベルトを最後まで引き出すと、ALR に切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再び ELR に切り替わる。	ELR に切り替えて取り付けてください。
その他	使用できません	

危険

シートベルトの種類以外の要因で使用できない可能性があります

シートベルトの種類が適合していても、他の条件により、本製品を正しく取り付け・使用できない場合があります。取り付け・使用可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。適合車種一覧で、取り付け・使用不可とされている車種・座席では、絶対に取り付け・使用しないでください。

使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の同乗者の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

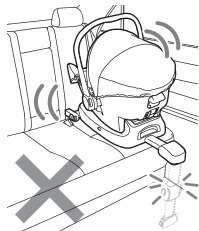
⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることが示します。

本書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付けること

本取扱説明書や i-Base 1x2 の取扱説明書、および本製品、i-Base 1x2 の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定し、使用してください。

正しく固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



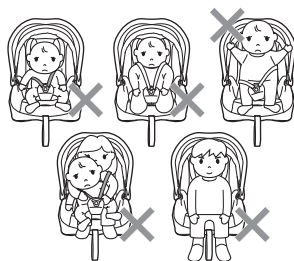
使用条件を厳守すること

本製品は、適合するチャイルドシートの基準により、使用できる条件と本製品の取り付け方法とそれに応じた使用可能なお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、正しく調節して、正しくお子さまを固定してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネスを間違っ使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

体型が合わない場合は使用しないこと

本製品では、お子さまの身長と体重・月齢により使用できる範囲が定められていますが、正しい範囲内でも、お子さまの体型・体格により、本製品を調節しても、お子さまを正しく固定できない場合には、所定の安全性能を発揮できませんので使用しないでください。

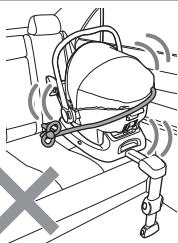
本書の指示にない荷重支持接点を使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本書、本製品本体で指示されている荷重支持接点以外を使用しないでください。

指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

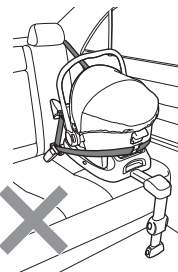
本製品および i-Base lx2 は、それぞれの取扱説明書および本体で指示する方法でのみ、自動車の座席に固定し、お子さまは本製品のハーネスを装着して使用することができます。ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを、固定、装着に使用してはいけません。

また、正しく固定、装着した上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



ISOFIX と 3 点式シートベルトの固定を同時に行わないこと

ISOFIX での固定と、3 点式シートベルトでの固定を併用してはいけません。安全性が増すことはなく、本製品が所定の安全性能を発揮しなくなるおそれがあります。



お子さまの様子に注意すること

本製品は、常に保護者の目が届く状態でご使用ください。お子さまを本製品に乗せたまま放置してはいけません。安全に配慮しつつ、お子さまの状態・様子には、常に注意を払ってください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

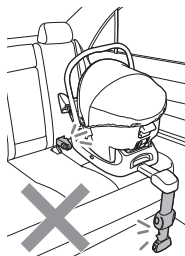
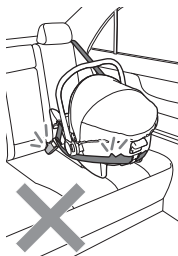
本製品の取り付けに関わる部位、部品に異常が認められる場合は絶対に使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が外れたり大きく動くなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

本製品のハーネス、バックル、腰ベルトガイド、肩ベルトガイド、シートベルト、シートバックルに異常がある場合には使用しないでください。

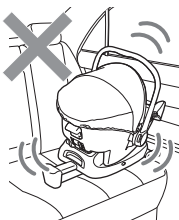
本製品を、ISOFIX で固定して使用する際には i-Base lx2 の ISOFIX コネクターや自動車の座席の ISOFIX 固定装置に異常がある座席では使用しないでください。

また、本製品を自動車の3点式シートベルトで固定して使用する場合、3点式シートベルトに異常がある座席では、取り付け・使用しないでください。



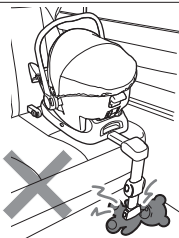
指定以外の向きで自動車の座席に取り付け・使用をしないこと

本製品は、自動車の進行方向に対して後ろ向きでのみ使用可能です。同様に、本製品を i-Base lx2 に取り付けて使用する場合、i-Base lx2 のサポートレッグを前にして自動車のシートに取り付けます。横向き・後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きでシートに取り付けてはいけません。



サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

本製品を i-Base lx2 に取り付けて使用する場合、i-Base lx2 のサポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

ハーネスを正しく調節して常に装着すること

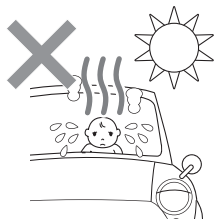
ハーネスは、高さ^①と長さ^②を正しく調節して、ねじれがないことを確認して、しっかりと締め付けて使用します。使用中は、常にバックル^③を留めておいてください。

本製品をチャイルドシートとして使用しない場合も、お子さまを乗せる場合は同様にしてください。



お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、どれだけ短時間であっても、絶対にお子さまを自動車の中に放置してはいけません。気温に関わりなく、日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、チャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強く挟んだ、など一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。

特に、交通事故の場合は軽度なものであってもチャイルドシートには強い力がかかっているおそれがありますので、ご使用にならないでください。

また、本製品の部品が欠落したり紛失したりした場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。

このような場合は、修理ができず、保証の対象外となりますので、新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。これは i-Base 1x2 も同様です。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

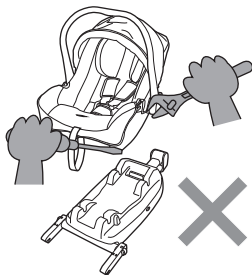
走行前には、毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

他の同乗者やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回チャイルドシートが正しい状態になっていることを確認してください。



チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格・基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品に変更を加えたり部品等を追加することは禁止されています。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや他社製の部品・製品を追加して取り付けて使用しないでください。



指定外のカバー類やソフトパッド、クッション類を使用しないこと

本製品のカバー類や、衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やクッション類以外のものを使用してはいけません。

カバー類を取り外して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、ウレタンも安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に本体に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

衝撃緩衝材を取り外さないでください。

本製品の内部に取り付けられている衝撃緩衝材は、本製品の安全性に関わる重要な部品です。絶対に取り外さないでください。

警告

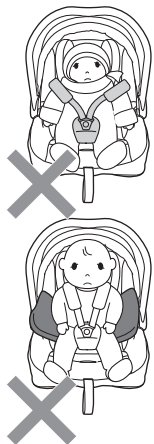
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

不適切な着衣で使用しないこと

お子さまがサイズの大きすぎる服や、厚みのありすぎる服などを着用していると、本製品のハーネスで正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがあります。また、ケープ・毛布など衣服ではないものや、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど厚着をしている場合には、お子さまが確実にチャイルドシートに固定されるよう、ハーネス等を正しく調節してください。

正しく調節できない場合は、お子さまが正しくチャイルドシートに固定できるよう、着衣を調節してください。

また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。



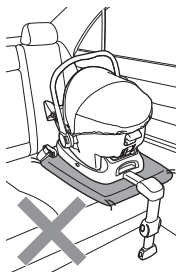
お子さまの固定に、ハーネス以外のものを使用しないこと

お子さまを本製品に乗せる場合には、ハーネス・バックルで正しくお子さまを固定してください。ハーネス・バックル以外のロープ・ベルト、紐などでお子さまを固定すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、正しくお子さまを固定した上から、これらのものでお子さまを固定しないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまに絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を敷くと、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく取り付けた際に、自動車のシートにくぼみや傷が生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。

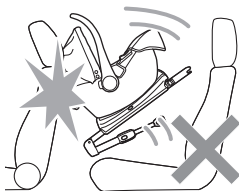


警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

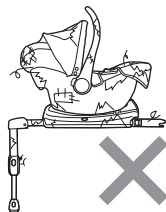
お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車のシートに正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

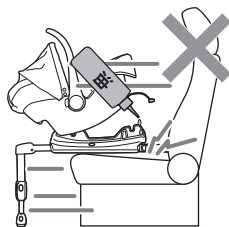
中古のチャイルドシート製品は過去の使用履歴や保管状況・使用状況が不明なため使用してはいけません。ISOFIX ベースも同様に、中古品は使用しないでください。

見た目では判断できない構造的損傷のある可能性もありますので、中古品、劣化したチャイルドシートは使用しないでください。また、安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



いかなる場合でも注油しないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的・方法でも、絶対に本製品に注油してはいけません。



本製品を取り付けた後に、自動車の座席のリクライニング操作・座席の移動をした場合には状態を確認すること

本製品を自動車の座席に取り付けた後に、取り付けた自動車の座席のリクライニング操作、座席の位置を前後に移動させる操作をすると、固定の状態が変化する可能性があります。これらの操作をした後には、必ず取り付け状態を確認してください。特に、3点式シートベルトで固定している場合は、取り付けがゆるむおそれがありますので、必ずご確認の上、しっかりと本製品を固定しなおしてください。

警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

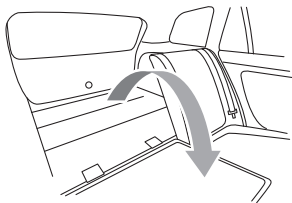
走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



ISOFIX コネクターや ISOFIX 固定装置、シートタンク、シートバックルを清潔に保つこと

i-Base lx2 の ISOFIX コネクター、ISOFIX 固定装置、シートタンク、シートバックルに食べかすや、汚れ、ほこりが付着していると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。これらを常に清潔に保つようにして必要に応じてお手入れするようにしてください。

警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

ハーネスがねじれていたり、ゆるんだりした状態で使用しないこと

お子さまを固定する際に、ハーネスがねじれていたり、ゆるんだ状態だと、本製品が所定の安全性能を発揮することができないばかりか、お子さまの首に絡むなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

ハーネスは、本書の指示に従い正しい高さに調節して、正しく締め付けてご使用ください。

シートベルトがねじれていたり、ゆるんだりした状態で使用しないこと

本製品を自動車の座席に3点式シートベルトで固定して使用する場合は、本書の指示に従い、正しく、しっかりと固定してください。本製品を固定する3点式シートベルトに、ねじれやゆるみがあると、交通事故や急制動の際にお子さまに過剰な衝撃が加わったり、お子さまが本製品から飛び出したり、本製品が自動車の座席から外れるおそれがあります。また、シートベルトがゆるんでいると、お子さまの首に絡むなどして、重大な事故につながるおそれがあります。シートベルトを含む、本製品の使用や取り付けに関わるベルト類はゆるみのないようにしてください。

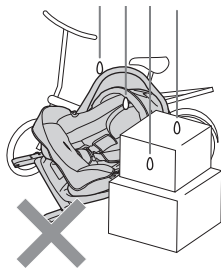
本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品、i-Base lx2 が損傷して所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、ドアや自動車座席のリクライニングで強く挟むなどしたりしないでください。また、本製品またはi-Base lx2 が損傷した場合は、使用を中止してください。i-Base lx2 のみ損傷時には、本製品単体を自動車の3点式シートベルトで固定して使用することもできます。



不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質したりするなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気が多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管された本製品を使用してはいけません。

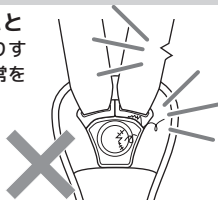


警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

バックル・ハーネスに異常がある場合は使用しないこと

本製品の使用中に、お子さまが飛び出したり、落下したりするおそれがあります。本製品のバックル・ハーネスに異常を感じた場合は、使用を中止してください。



目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、本書で示す目的でのみ使用することができます。ブースターチェアや就寝用ベッドとして使用するなど、本来の目的以外で使用すると、本製品が落下や転倒をしたり、お子さまが落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



本製品を i-Base lx2 に取り付けた状態で、お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

お子さまがチャイルドシートから落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスでお子さまが正しく固定されていたとしても、本製品を i-Base lx2 に取り付けた状態で、お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないでください。

また、サポートレグが突然開き、ケガをするおそれがありますので、i-Base lx2 を持つ場合には、サポートレグが開かないよう、サポートレグに手を添えて持つようにしてください。



キャリーハンドルの状態を確認してから本製品を持ち上げること

キャリーハンドルが正しく固定されていない状態で、キャリーハンドルを持って本製品を持ち上げると、本製品が思わぬ動きをして、本製品が落下したり、お子さまが落下したりするおそれがあります。必ず、キャリーハンドルをキャリーモードで確実に固定してから本製品を持ち上げるようにしてください。

⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

ベビーカーに確実に取り付けて使用すること

本製品が脱落し、重大な事故につながるおそれがありますので、本製品をベビーカーに取り付けて使用する場合には、本取扱説明書およびベビーカーの取扱説明書の指示に従い、正しく、確実に取り付けて使用してください。

また、本製品は、当社が指定するベビーカー以外には取り付けることができません。無理に取り付けようとすると、本製品が破損し、本製品が落下するおそれがあります。

本製品を持ってベビーカーを持ち上げないこと

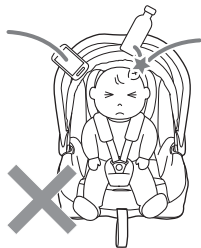
本製品をベビーカーに取り付けて使用する場合、キャリーハンドルを含め、本製品だけを持ってベビーカー全体を持ち上げてはいけません。ベビーカーを持ち上げる必要があるときは、ベビーカーのフレームの、安定する部分を持って持ち上げるようにしてください。

⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

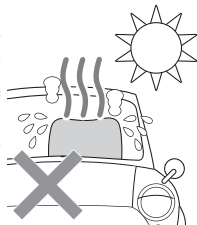
車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物は適切に固定するようにしてください。



部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて、日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

ハーネス・キャノピーなどの部分を持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際に、ハーネス・キャノピー・ソフトパッド・生地部分などを持って、持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。

本製品を持つ場合、本製品単体の場合にはキャリーハンドルを持って、本製品を i-Base lx2 に取り付けた状態の場合は、サポートレグを手で支えながら i-Base lx2 の本体部分を持つようにしてください。



トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので、長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

バックル・ハーネスを自動車のドアやシートに挟まないよう注意すること

本製品のバックルやハーネスを自動車のドアで挟んだり、シートに挟んだりしないように注意してください。お子さまを乗せていない場合でも、ほこりやゴミが入らないように常にバックルを留めておくようにしてください。

長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください

本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず、取り外し、車外に出して安全な場所で適切に保管してください。

自動車の取扱説明書を参照すること

チャイルドシートを使用するには、自動車の取扱説明書を参照する必要があります。本製品を使用するにあたっては、本製品を取り付ける自動車の取扱説明書を併せて参照してください。

疑問点、ご不明な点は、販売店、メーカーにお問い合わせください

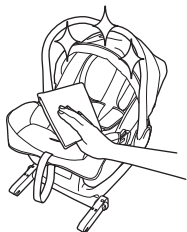
補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従って行うようにしてください。



長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

また、安全運転のためにもなりますので、チャイルドシートとして使用する場合には、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

ベビーベッドとして使用しないこと

本製品は、ベビーベッドではありません。赤ちゃんの健康を害するおそれがあります。長時間の睡眠には適しませんので、ベビーベッドの代用としては使用しないでください。

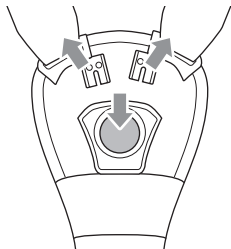
お子さまの手足が挟まれないようにすること

お子さまがケガをするおそれがありますので、本製品の取り付け、取り外し等の操作の際には、お子さまの手足に注意し、本製品とベビーカーや自動車の座席、i-Base lx2 の間に挟まないようにしてください。

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、慌てず本製品の受けバックルを握ってバックルボタンを押し下げ、ハーネスを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させて、直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。

お子さまの脱出の際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックルボタンが機能しない場合は、以下の方法でお子さまを脱出させてください。



バックルボタンが機能しない場合

ISOFIX で固定している場合

- 本製品を i-Base lx2 から取り外す
- i-Base lx2 ごと自動車の座席（ISOFIX 固定装置）から取り外す
- シートベルトカッターでハーネスを切断する

3 点式シートベルトで固定している場合

- シートベルトのバックルを外す
- シートベルトカッターで、シートベルトを切断する
- シートベルトカッターで、ハーネスを切断する

基本的な使用方法

ここでは、本製品の基本的な使用方法について説明しています。実際にご使用になる際は、お子さまの体重や体格、月齢に合わせて調節してください。

⚠危険

適切に使用すること

不適切な使用は、思わぬ事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、本製品を正しく取り付け、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じて本書の指示に従い、適切に使用してください。

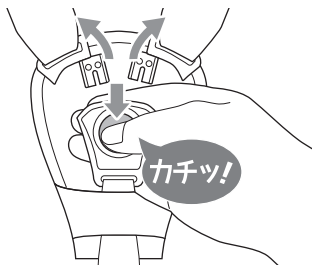
バックルの使いかた

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、バックルボタンを押し下げます。

バックルボタンを直接押下せず、受けバックルを握るようにして、バックルボタンを押下してください。「カチッ」と音がして、差込みタンクが外れます。



⚠注意

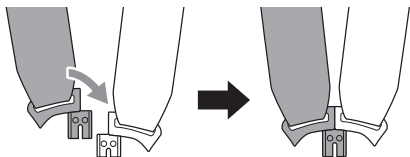
受けバックルを握ってバックルボタンを押し下げてください

バックルボタンを直接押下すると、お子さまの腹部を圧迫するおそれがあります。バックルを外す際には、受けバックルを握るようにして、バックルボタンを押し下げてください。

バックルの留めかた

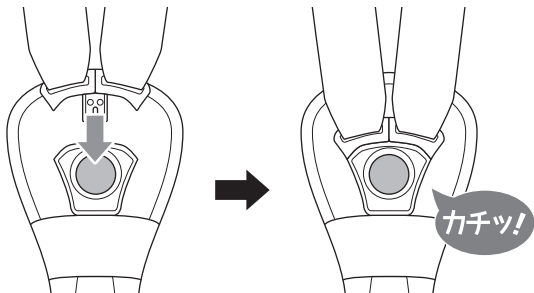
01

左の差込みタングの下に右の差込みタングを重ねます。ハーネスをねじらないようにしてください。



02

そのまま、差込みタングを、受けバックルに差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



03

軽くハーネスを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

ポイント!

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないとき、保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

⚠危険

バックルは確実に留めて使用すること

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

⚠注意

バックルを清潔に保つこと

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

ハーネスの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてハーネスでお子さまをしっかりと固定できるよう、ハーネスの長さを調節します。

⚠危険

ハーネスの長さは適切に調節すること

ハーネスは、必ず適切な長さに調節してください。ハーネスが締められすぎていたり、ゆるんでいたりとすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり、ハーネスが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

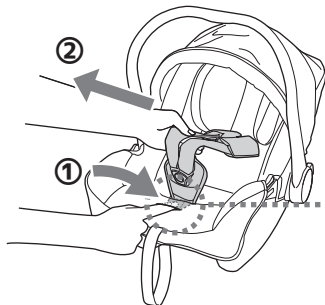
ハーネスは左右同じ長さに調節すること

左右でハーネスの長さが異なると、ハーネスが所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。必ず左右のハーネスを同じ長さに調整してください。

ゆるめかた

01

本製品の前端のアジャスターベルトの上にある①ベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは見えません）を押し込みながら、②左右のハーネスを束ねて持って、ゆっくりと手前に引き出します。

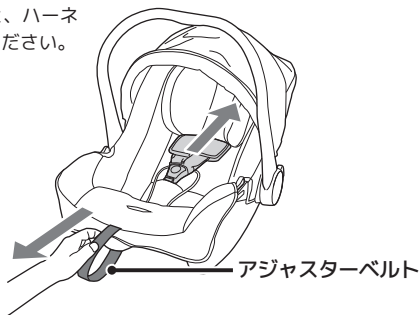


ベルトアジャスターは穴（切れ込み）の中にあります。外側からは見えません。

締めかた

01

アジャスターベルトを手前に引くと、ハーネスが締まります。ゆっくり引いてください。



⚠注意

アジャスターベルトはゆっくりと引くこと

勢いよく強くアジャスターベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。

着脱式クッションの使いかた

本製品には、横からの衝撃の緩和を目的に着脱式クッションが内蔵されています。

着脱式クッションは、シートカバーの左右に内蔵されています。

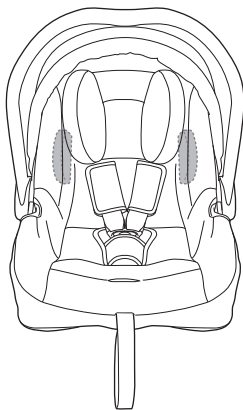
身長 60cm 以下のお子さまには、着脱式クッションを取り付けての使用を強くお勧めします。

お子さまが成長して、お子さまの肩が窮屈になってきたら着脱式クッションを取り外して使用してください。

⚠注意

着脱式クッションは左右同じ状態で使用してください

着脱式クッションは、シートカバーの左右に内蔵されています。お子さまの姿勢が安定しなくなりますので、着脱式クッションを片方だけの状態にして使用しないでください。



着脱式クッションの取り外し・取り付け

着脱式クッションの取り付け、取り外しのために、シートカバーを一部取り外す必要があります。以下を参照して、着脱式クッションを取り外し、取り付けしてください。

参照 P85-86 ▶シートカバー・着脱式クッション・ヘッドサポートの取り外し▶ 01~03

⚠警告

本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります

シートカバーの着脱式クッション収納部には、付属の着脱式クッション以外のものを入れないでください。特に横からの衝撃を受けた際には、着脱式クッション収納部が強くお子さまの側面に押し付けられますので、着脱式クッションを他のもので代用したり、固いものや尖ったものなどは絶対に入れないでください。

⚠注意

着脱式クッションをなくさないように注意してください

着脱式クッションを取り外した場合は、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

キャリーハンドルの使いかた

キャリーハンドルは3つのポジションで使うことができます。

①キャリーポジション

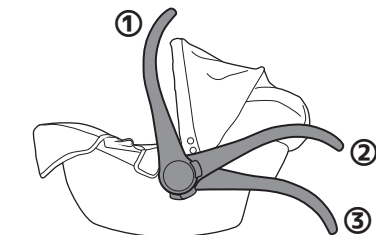
チャイルドシート、ベビーキャリー、ベビーカー用のシートとして使用するには、このポジションに設定してください。

②ロックポジション

ロックングチェアのように、前後に揺らすことができます。
お子さまの様子を見て、ご使用ください。

③チェアポジション

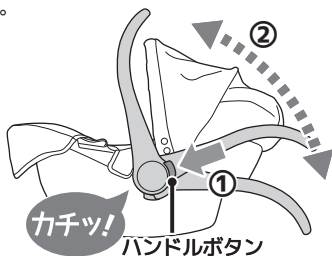
底面が安定して、ロックングしなくなります。



01

キャリーハンドルの左右の根元にある、①ハンドルボタンを両方同時に押しながら、②キャリーハンドルを動かし、任意のポジション（3つのポジションのいずれか）まで動かすと、「カチッ」と音がしてキャリーハンドルが固定されます。

目的のポジション以外で固定されてしまった場合、もう一度ハンドルボタンを押して操作をやり直してください。



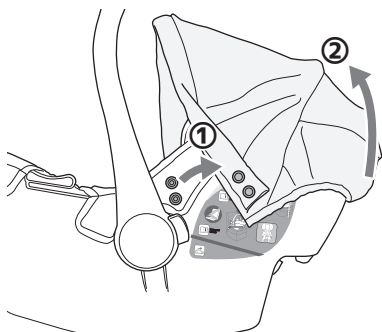
キャノピーの使いかた

キャノピーは、必要に応じて取り外すことができます。

01

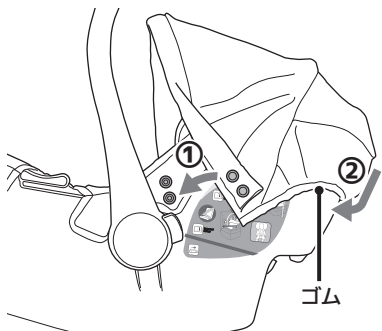
キャノピーを取り外すには、①左右のキャリーハンドル根元あたりで留めてあるホックボタン(各2カ所)を外して、②キャノピーを取り外します。

取り外したキャノピーは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。



02

キャノピーを取り付けるには、キャノピーの前後を確認(ゴム芯のある側が後ろになります)して、①左右のキャリーハンドル根元あたりのホックボタン(各2カ所)を留めて、②キャノピーの後ろ側のゴムを本体の縁に掛けるようにして取り付けます。



i-Base lx2（別売）による取り付け

本製品を i-Base lx2（アイ - ベース ラックス 2）で固定して、チャイルドシートとして使用する場合は、あらかじめ i-Base lx2 を座席に固定してから、i-Base lx2 に本製品を取り付け、固定して使用します。

本書では、i-Base lx2 の自動車の座席への取り付け、取り外しについて基本的な操作部分を説明しています。

実際に取り付け、ご使用いただく際には、i-Base lx2 の取扱説明書を併せてご確認ください。

i-Base lx2（別売）の取り付け・取り外し

⚠危険

i-Base lx2 の取扱説明書をあわせて確認すること

本書とあわせて、i-Base lx2 の取扱説明書を必ず確認し、その指示に従ってください。

i-Base（アイ - ベース）には取り付け使用できません

本製品は、現時点において i-Base lx2 にのみ対応しています。

⚠警告

お子さまを近づけないようにして作業すること

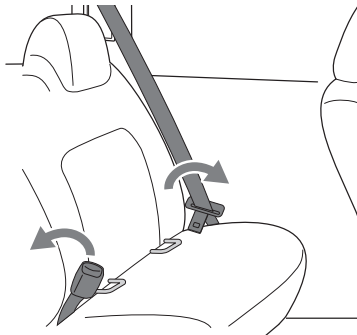
安全のため、i-Base lx2 の取り付け・取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

👉ポイント！

本書では、ISOFIX ベースは、Joie i-Base lx2（別売）を ISOFIX 固定装置に取り付けて使用する場合の使用方法を記載しています。

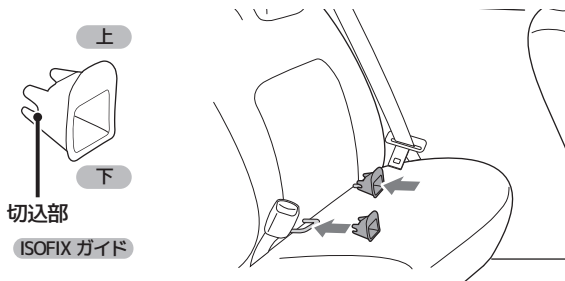
01

本製品を取り付けるシートのシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



02

i-Base lx2（別売）に付属の ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定装置に差し込みます。ISOFIX ガイドには左右はありませんが、上下がありますので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定装置に差し込むようにして取り付けてください。



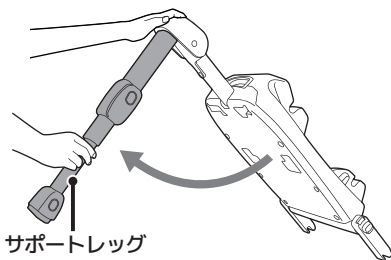
ポイント！

車種によっては、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに i-Base lx2 を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定装置の周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

ISOFIX 固定装置は、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定装置が見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定装置にカバーが掛けられている場合がありますので、自動車の取扱説明書をご確認ください。

03

i-Base lx2 のサポートレッグを最後まで開きます。

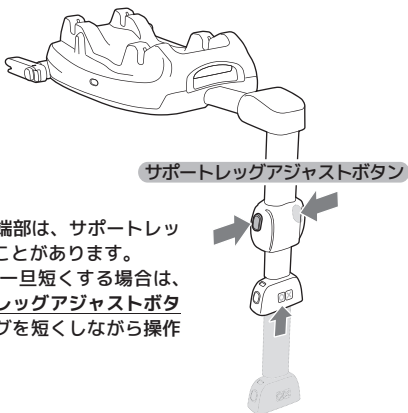


⚠ 注意

サポートレッグは完全には固定されていません

サポートレッグは閉じた状態で完全には固定されていません。i-Base lx2 を持ち上げるとサポートレッグが開き、先端部が下に引き出されることがありますので、ご注意ください。

👉 ポイント！

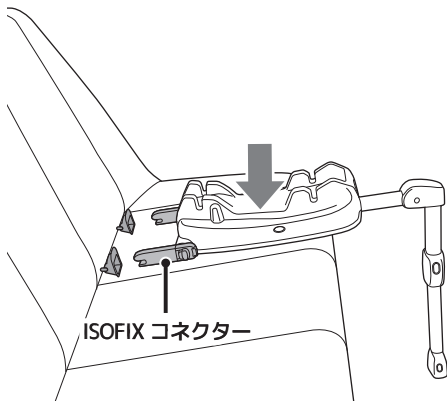


i-Base lx2 のサポートレッグの先端部は、サポートレッグが開くと自動的に引き出されることがあります。

以下の操作時にサポートレッグを一旦短くする場合は、サポートレッグの左右のサポートレッグアジャストボタンを同時につまんでサポートレッグを短くしながら操作してください。

04

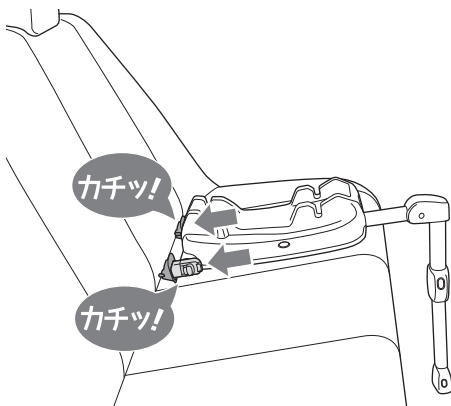
ISOFIX ガイドの位置を確認して、i-Base lx2 の ISOFIX コネクターを ISOFIX ガイド側に向けて、i-Base lx2 をシート座面に置きます。



05

i-Base lx2 の左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。

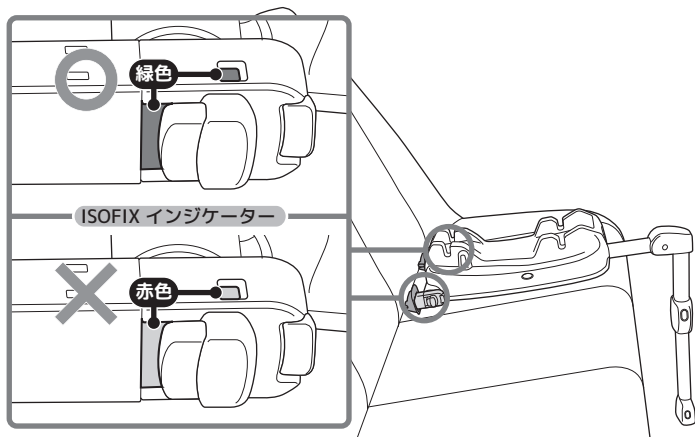
左右ともカチッと音がして座席の ISOFIX 固定装置に固定されるまでしっかりと差し込んでください。



06

左右の ISOFIX コネクターの ISOFIX インジケーターがそれぞれ 2 か所とも(合計 4 か所) 緑色になっていることを確認します。**必ず、左右両方とも確認してください。**

いずれか一つでも緑色になっていない場合は、もう一度操作をやりなおしてください。



⚠危険

ISOFIX コネクターは確実に固定すること

ISOFIX コネクターが確実に ISOFIX 固定装置に取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に、i-Base lx2 が自動車の座席から外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

左右の ISOFIX インジケーターのいずれか一つでも緑色になっていない場合は正しく取り付けられていない状態ですので、すべての ISOFIX インジケーターが緑色になるよう取り付け直してください。

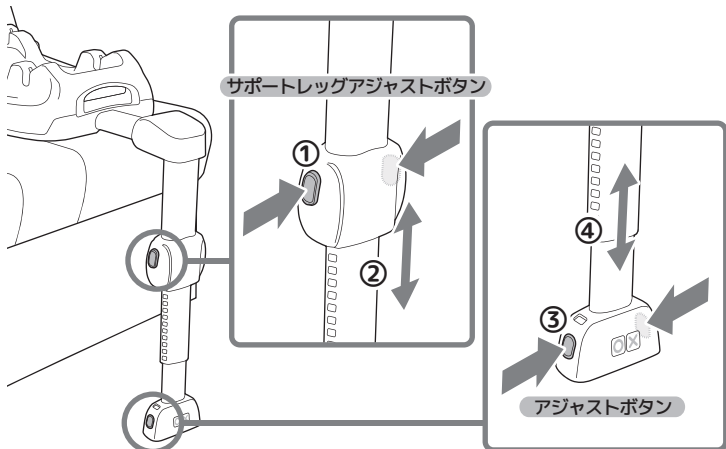
👉ポイント！

光量が足りない場合は、明るい場所で作業するか懐中電灯で照らすなどして ISOFIX インジケーターを確認してください。

また、ISOFIX インジケーターが緑色になっている場合でも、念のため、しっかりと固定されているかどうか、軽く i-Base lx2 を手前に引いて確認するようにしてください。

07

①サポートレッグアジャストボタンを左右からつまむようにして握り、②サポートレッグを調整します。サポートレッグを長くしすぎて、i-Base lx2 本体底面の先端（サポートレッグ側）がシート座面から浮き上がらないようにご注意ください。③アジャストボタンを同様に操作して高さを調整します。i-Base lx2 の本体底面がシート座面に接した状態で、サポートレッグの先端の底面が完全に床面に接する長さ調整してください。

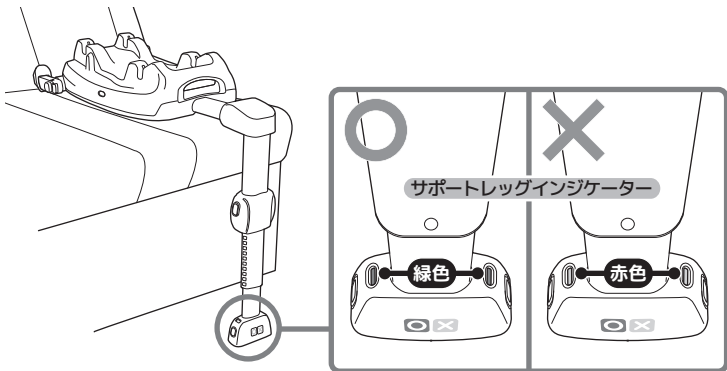


 **ポイント！**

サポートレッグは 24 段階で長さを調節できます。

08

サポートレッグ先端のサポートレッグインジケーターが完全に緑色になっていることを確認します。完全に緑色になっていない場合は、サポートレッグインジケーターが緑色になるよう、サポートレッグを調節してください。



危険

サポートレッグインジケーターが赤色の状態では使用しないこと

サポートレッグが完全に床面に接地するとサポートレッグインジケーターは緑色になります。赤色の場合は、サポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節して、サポートレッグインジケーターが緑色になるようにしてください。

サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

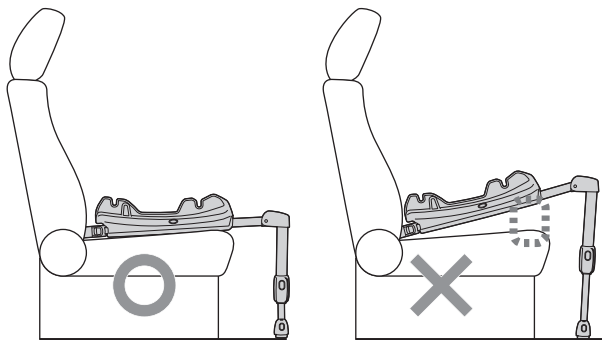
サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面の平面部に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。



警告

i-Base lx2 本体の底面をシート座面から浮かせないこと

サポートレッグを調節する際に、i-Base lx2 本体底面が座面から極端に浮かないようにしてください。i-Base lx2 の本体底面が座面に、サポートレッグが完全に床面にそれぞれ接している状態にします。

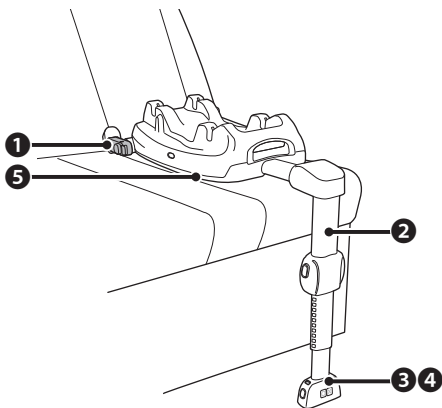


09

念のため、左右の ISOFIX コネクターを手前に引いて、ISOFIX コネクターがしっかりと ISOFIX 固定装置に固定されていることを確認してください。

10

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう操作しなおしてください。



チェックリスト

- ① 左右の ISOFIX コネクタが ISOFIX 固定装置に固定され、ISOFIX インジケータが左右とも緑色になっていること（合計 4 カ所）。
- ② サポートレッグが完全に開かれていること。
- ③ サポートレッグインジケータが緑色になっていること。
- ④ サポートレッグの先端が床面に接していること。
サポートレッグの下、周辺に物が置かれていないこと。
- ⑤ i-Base lx2 本体の底面がシート座面に接していること。

i-Base lx2 の取り外しかた

01

あらかじめ本製品を取り外します。

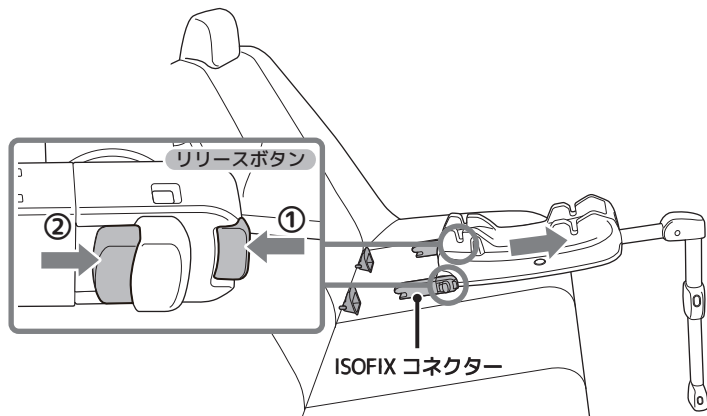
参照 P56 ▶本製品の取り外し

02

i-Base lx2 の ISOFIX コネクターを ISOFIX 固定装置から取り外します。

左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。

ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。①のリリースボタンを押しながら、②のリリースボタンを押して ISOFIX コネクターのロックを解除します。そのまま i-Base lx2 の本体を手前に動かして ISOFIX 固定装置から抜きます。



👉 ポイント!

ISOFIX コネクターを左右同時に操作しながら、i-Base lx2 を手前に引いて取り外します。本製品を手前に引かないと、ISOFIX コネクターが再度ロックされてしまいます。

⚠️ 警告

自動車の座席から取り外したら必ず車外に出しておくこと

本製品、i-Base lx2 を座席から取り外したら、そのまま車内に置いておかないでください。これらは正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



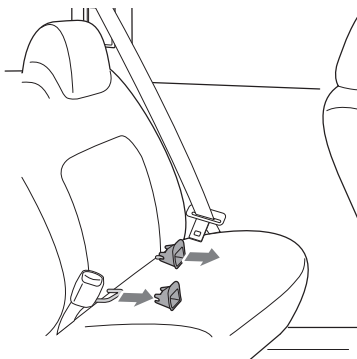
サポートレッグは完全には固定されません

i-Base lx2 のサポートレッグは閉じた状態で簡易に固定されていますので、サポートレッグを下から支えるようにして i-Base lx2 を持ち、車外に取り出します。

サポートレッグは開いた状態、閉じた状態で簡易に固定されていますが、突然開いてケガをするおそれがあります。i-Base lx2 を持ち運ぶ際には、片手をサポートレッグに添えて持ち運ぶようにしてください。

03

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドはなくさないよう、大切に保管してください。

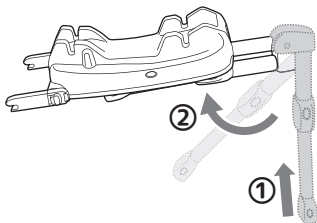


ISOFIX ガイドを取り外しておくこと

ISOFIX ガイドが紛失、破損したり、同乗者がケガをするおそれがあります。ISOFIX ガイドは、必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。

04

①サポートレッグを縮めて、②本体側に折りたたんで閉じます。車外のお子さまの手の届かない安全な場所に置きます。



本製品の取り付け

01

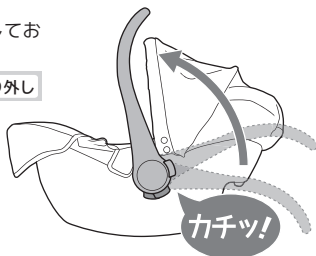
あらかじめ、i-Base lx2 を自動車の座席に固定しておきます。

参照 P41-48 ▶ i-Base lx2 (別売) の取り付け・取り外し

02

キャリアハンドルをキャリアポジションに切り替えておきます。

参照 P39 ▶ キャリアハンドルの使いかた



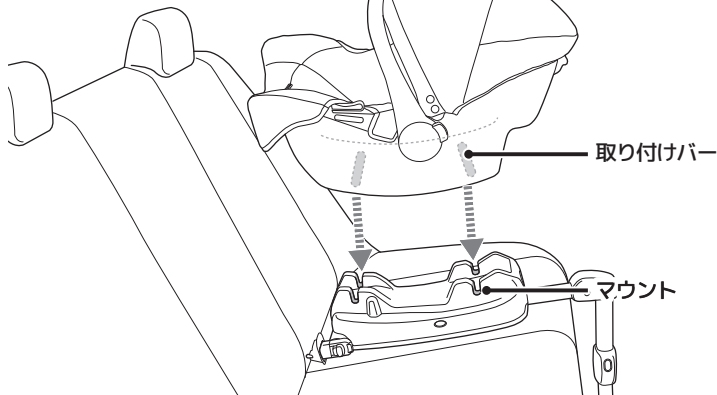
⚠ 危険

キャリアポジションで使用すること

チャイルドシートとして使用する場合は、キャリアハンドルは常にキャリアポジションにしてください。

03

本製品を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして、底面の前後にある取り付けバー（金属棒）と、i-Base lx2 のマウン트의位置を合わせて下ろします。

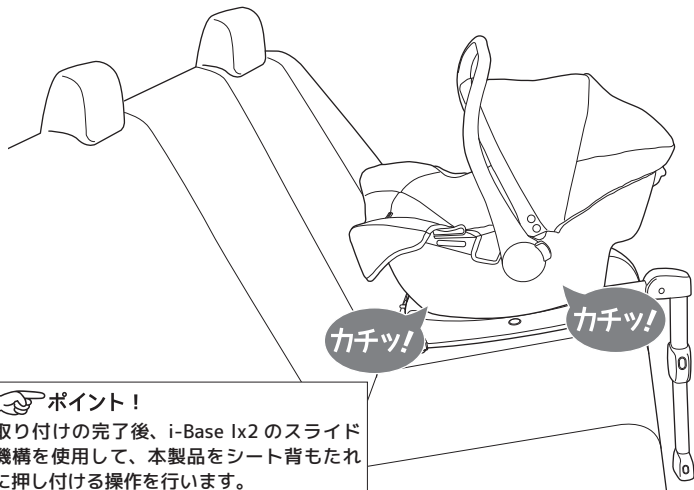


04

そのまま本製品を i-Base lx2 に押し込み、カチッと音がして、本製品が i-Base lx2 にしっかりと固定されたことを確認します。

この際、本製品の足元先端部がシート背もたれに干渉して取り付けが困難な場合は、i-Base lx2 のスライド機構を使用して、一旦 i-Base lx2 の本体を前方に移動させてください。

参照 P54-55 ▶本製品の取り付け▶ 07~09



⚠危険

後ろ向きで使用するこ

本製品は、進行方向に対して後ろ向きでのみ使用できます。

シートベルト等で追加の固定をしないこと

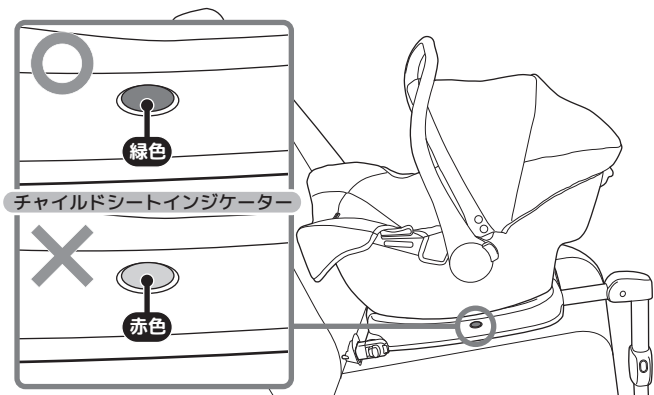
ISOFIX で固定した上から、シートベルトや紐など、その他の方法で、追加して本製品を固定しようとししないでください。これらによって固定が強化されることがないばかりか、チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品に対応しない ISOFIX ベース、ベースに取り付けないこと

当社が、取り付けが可能、と明示していない、ISOFIX ベースやその他のベースシートに本製品を取り付けてはいけません。

05

i-Base lx2 の左右のチャイルドシートインジケータが両方とも緑色になっていることを確認してください。一方で赤色になっている場合は、取り付けなおしてください。



06

念のため、本製品を持ち上げても i-Base lx2 から外れないことを確認してください。

⚠ 危険

確実に取り付けること

i-Base lx2 に確実に固定されていないと、本製品はチャイルドシートとして正しく機能せず、事故や衝撃を受けた際に本製品が i-Base lx2 から外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず、i-Base lx2 の左右のチャイルドシートインジケータがすべて緑色になっていることを確認し、本製品を軽く動かしてみて、i-Base lx2 から外れないことを確認してください。

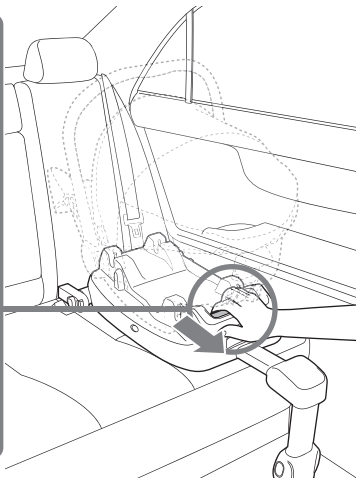
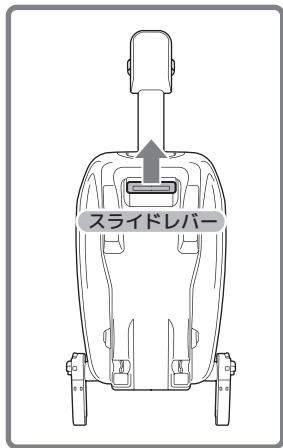
ポイント！

以下の操作は、本製品を i-Base lx2 に取り付けて使用するにあたって必要な操作となります。この操作を行うと、本製品のハーネスの締め付け操作（長さの調節操作）が行いにくくなります。あらかじめお子さまを乗せてハーネスを適切な長さに調節しておくか、i-Base lx2 のスライド機構を使用して、本製品のハーネスを調節できる状態にして、長さを調節してから再度以下の操作を行ってください。

07

本製品の足元先端部がシート背もたれに干渉して取り付けが困難な場合は、i-Base lx2 のスライド機構を使用して、一旦 i-Base lx2 の本体を前方に移動させてください。

i-Base lx2 の本体上面のスライドレバーを手前に引いてロックを解除します。本製品の後部によりスライドレバーが見えにくくなっていますので、注意して本製品と i-Base lx2 の隙間に手を差し入れて操作してください。



08

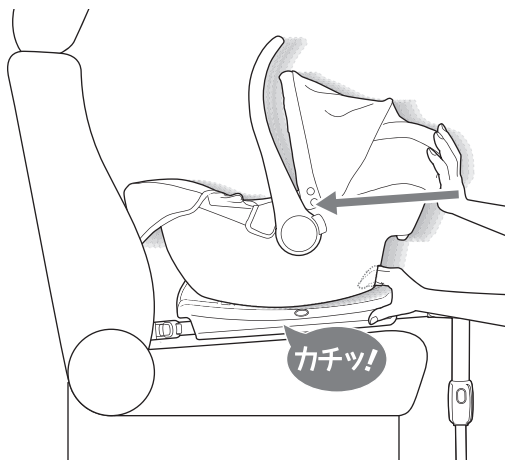
i-Base lx2 の左右のチャイルドシートインジケーターが両方とも緑色になっていることを確認してください。

念のため、本製品を持ち上げても i-Base lx2 から外れないことを確認します。

参照 P56 ▶本製品の取り付け▶ 05~06

09

そのまま（i-Base lx2 のスライドレバーを手前に引いてロックを解除した状態）本製品を座席の背もたれ側に押し付けます。しっかりと背もたれ側に押し付けてください。スライドレバーから手を離して、カチッと音がして本製品（i-Base lx2 の本体）がロックされたことを確認してください。



⚠危険

ハーネスは必ず正しく調節して使用すること

ハーネスの調節はお子さまの安全のための最も重要な操作となります。必ず正しく調節して、正しい状態でご使用ください。

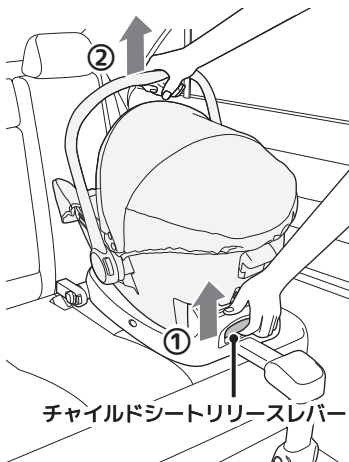
上記 07-09 の操作を行うことにより、ハーネスの調節操作が困難になった場合は、i-Base lx2 のスライドレバーを操作して一旦、本製品を手前側（i-Base lx2 のサポートレグ側）に移動させてからハーネスを調節してください。

ハーネスの調節が完了したら 09 の操作をもう一度行って、本製品を背もたれ側に押し付けます。

本製品の取り外し

01

i-Base lx2 の前端にある、①チャイルドシートリリースレバーを握りながら、②本製品をゆっくりと持ち上げて取り外します。取り外した本製品を車外に出します。



⚠危険

i-Base lx2 のマウント部を汚さないこと

本製品を取り外すと、i-Base lx2 の上部が露出します。i-Base lx2 のマウント部は、本製品を i-Base lx2 に固定する重要な部品です。マウントに汚れが付着していると、本製品が正しく固定できなくなるおそれがあります。使用しないときは、i-Base lx2 にカバーをするなどして、汚れやほこりが付着しないようにしてください。

長期間使用しない場合は、i-Base lx2 も取り外して車外で保管してください。また、お手入れ、保管の目的でも、絶対に注油しないでください。

お子さまの乗せかた

01

あらかじめハーネスをゆるめ、バックルを外しておきます。

参照 P37 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた▶01

02

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座させます。背筋を伸ばして、股ベルトパッド（受けバックル）を両足の間に入れます。

ハーネスをお子さまの前側に出しておいてください。

警告

ハーネスパッドは外さないでください

ハーネスパッドを取り外した状態では、絶対に使用しないでください。事故や衝撃を受けた際にお子さまが適切に保護されず思わぬ事故につながるおそれがあります。



03

ハーネスが十分にゆるんでいることを確認します。

ハーネス、股ベルトににねじれがないことを確認して、ハーネス（ハーネスパッド）をお子さまの肩の部分に通し、カチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。

警告

ハーネスをねじらないようにすること

ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、ハーネス、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

ハーネスはお子さまの肩の部分を通すこと

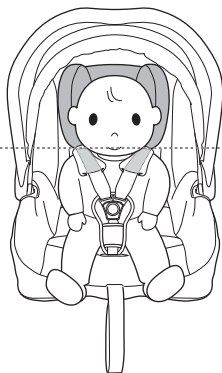
ハーネス（ハーネスパッド）がお子さまの肩の部分を通っていないと、お子さまが落下したり、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが飛び出したりするおそれがあります。



04

お子さまの位置を調節してハーネスの高さが適切になるようにしてください。肩ベルトの高さとお子さまの肩が同じ高さになるようにします。ヘッドサポートの下端がお子さまの肩の高さと水平になっている状態が適切な状態です。

ヘッドサポートの下端
がお子さまの肩の高さ
と水平になっている



⚠ 危険

適切な高さに調節すること

肩ベルトの位置が高すぎたり、低すぎたりすると、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、お子さまに過剰な負担が掛かるおそれがあります。必ず適切な高さになるように調節してください。



05

ハーネスとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引いて、締めつけます。

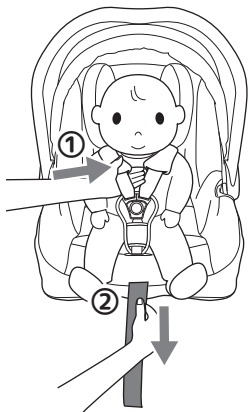
差し込んだ掌がハーネスとお子さまの身体の間で挟まれるまで締め付けるようにします。

⚠危険

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること

ハーネスが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを、勢いよく引っ張らないでください。

強くハーネスが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず、適切な強さで締め付けるようにしてください。



👉ポイント!

締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、ハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P37 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた▶01

06

お子さまを降ろすには、バックルを外し、ゆっくりと降ろしてください。

3点式シートベルトによる取り付け

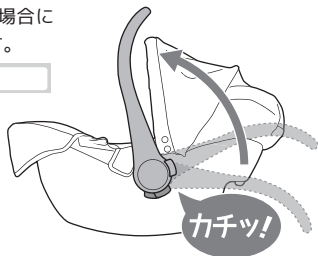
本製品は、本製品単体で、自動車の座席の3点式シートベルト（3点式リトラクターシートベルト）で取り付けることができます。

3点式シートベルトを装備したすべての座席に取り付けできるとは限りません。あらかじめ、P5「はじめにお読みください」、P14「自動車の座席への取り付けに関して」をお読みいただき、使用可能な条件等についてご確認ください。

01

キャリーハンドルがキャリーポジション以外の場合には、キャリーポジションに切り替えて固定します。

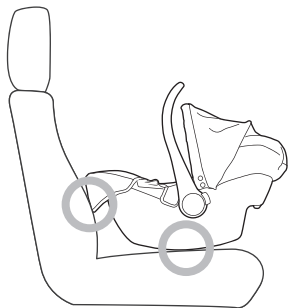
参照 P39 ▶キャリーハンドルの使いかた



02

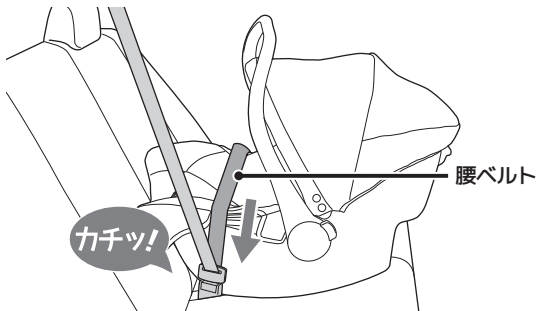
取り付けたい自動車の座席に、本製品を後ろ向きにして置きます。

本製品の、底面が座席の座面に、前端が背もたれに、それぞれ接するようにしてください。



03

シートベルトにねじれがないことを確認して、バックルを留めます。腰ベルトが本製品の上を通るようにします。カチッと音がして、しっかりと留まっていることを確認してください。



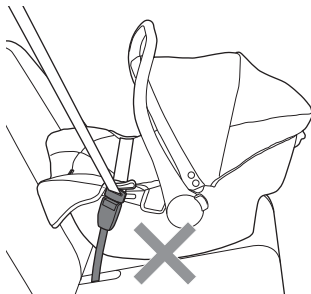
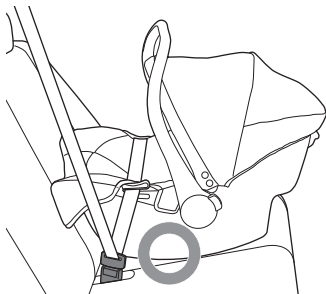
⚠危険

シートベルトにねじれがないようにすること

シートベルトがねじれていると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シートベルトをねじらないように注意してシートベルトのバックルを留めてください。

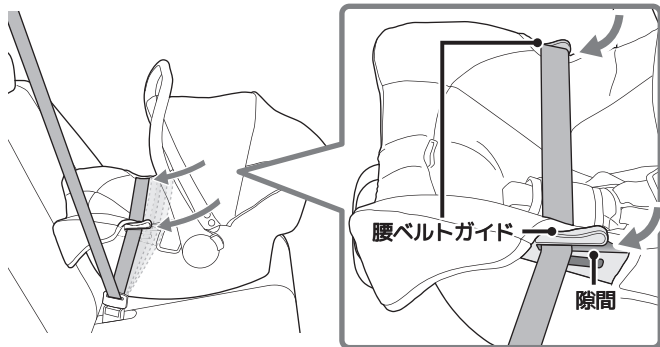
バックルが長すぎる（バックルのベルト）座席には取り付けないこと

バックルのベルトが長すぎたり、バックルの位置が高すぎたり、前過ぎたりすると、本製品に干渉して、しっかりと取り付けができない場合があります。このような座席には取り付けないようにしてください。



04

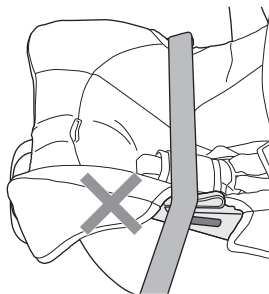
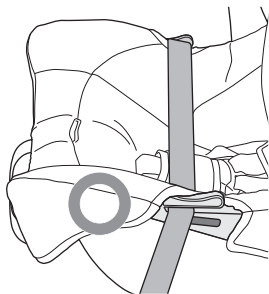
腰ベルトをねじらないように注意しながら、左右の腰ベルトガイド（緑色でマークされた部分）の隙間に通します。キャリアハンドル側から滑り込ませるようにして、奥までしっかりと通してください。



⚠危険

腰ベルトは確実に左右の腰ベルトガイドを通すこと

腰ベルトは、必ず左右の腰ベルトガイドを通るようにしてください。腰ベルトが正しく腰ベルトガイドに通っていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が座席から外れるおそれがあります。



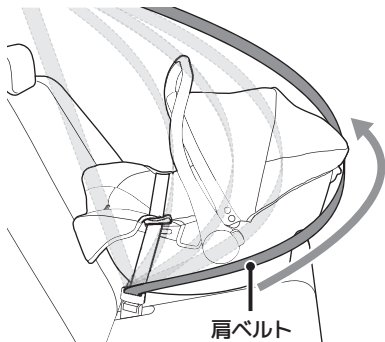
05

肩ベルトを引き出して、ねじらないように注意しながら、本製品の後ろ側に回します。

ポイント！

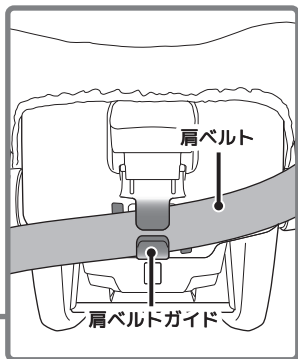
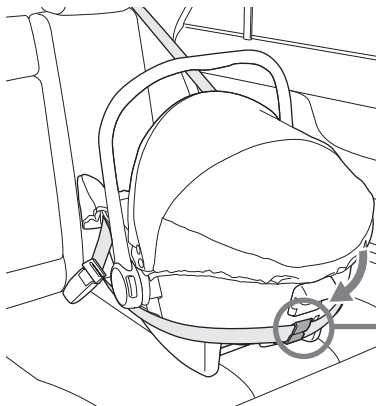
作業中、シートベルトの固定機能が働いてしまうと、シートベルトを引き出すことができず、それ以上作業ができなくなります。

P19「3点式シートベルトで固定する場合」でシートベルトの種類を確認し、自動車の取扱説明書のシートベルトの使い方の説明を確認して、シートベルトの固定機能を解除してください。



06

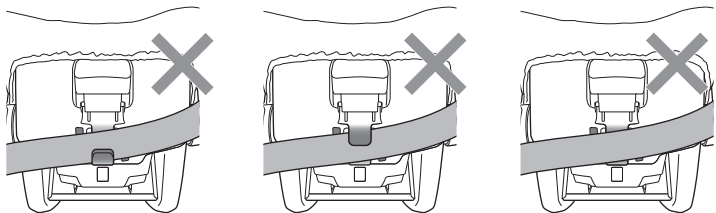
そのまま、下図を参照して、肩ベルトを後部の肩ベルトガイド（緑色と▶のマークで指示されています）に差し入れます。



⚠危険

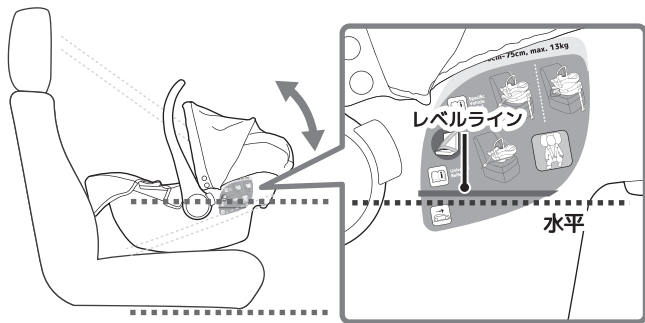
肩ベルトは正しく肩ベルトガイドを通すこと

肩ベルトは、必ず正しく肩ベルトガイドを通るようにしてください。肩ベルトが正しく肩ベルトガイドに通っていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が座席から外れるおそれがあります。



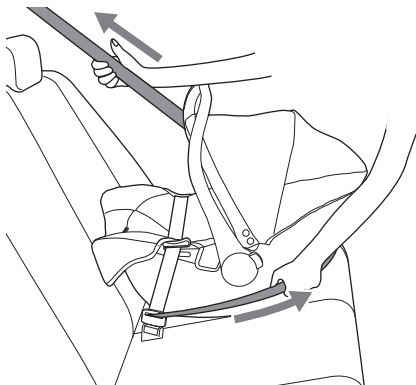
07

本製品の側面に貼られているレベルライン（緑色の太い線）が、地面に対して水平になるように本製品の角度を調節してください。



08

肩ベルトを、締め付ける方向に強く引いて、本製品を自動車座席に固定します。強く締め付けるほど、本製品はより強く固定されます。



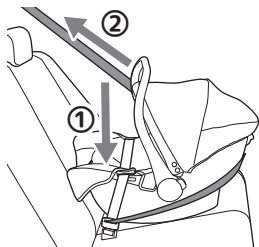
⚠注意

お子さまの様子に注意すること

お子さまを乗せたまま、取り付け作業を行う場合は、お子さまの安全を確認しながら、作業してください。

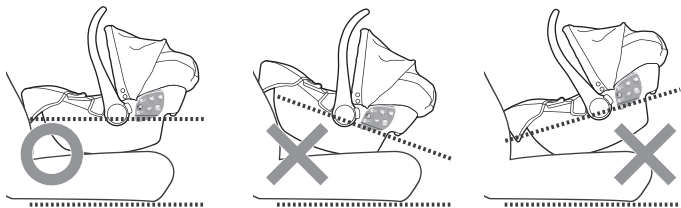
👉ポイント！

お子さまが乗っていない場合、本製品の①座面部分を強く押し付けながら（シートベルトの腰ベルトは押さないでください）、②肩ベルトを強く引くと、より容易に、しっかりと固定することができます。取り付け方法の如何を問わず、本製品をしっかりと固定してください。



09

もう一度、レベルラインが地面に対して水平になっていることを確認します。
角度がつきすぎている場合には、もう一度取り付けなおしてください。



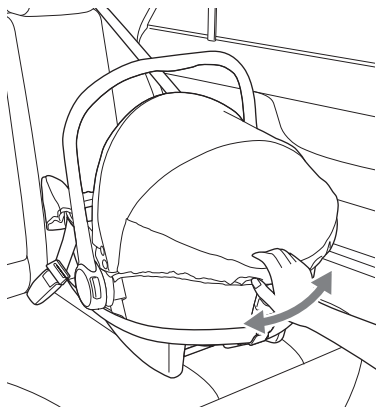
警告

レベルラインが地面に対して水平になるように固定すること

角度がつきすぎていると、事故や衝撃を受けた際におさまが本製品から飛び出したり過剰な負担が掛かったりするおそれがあります。また、通常使用時においても、特に月齢の低いおさまには大きな負担となりますので、レベルラインが地面に対して水平に近くなるように調節してください。

10

本製品を、前後左右に軽く動かしてみます。グラグラした感じがして、本製品が3cm以上動く場合、取り付けがゆるい状態ですので、シートベルトの肩ベルトをさらに締め付けてください。



ポイント！

シートベルトを、きつく締め付けるほど、本製品はしっかりと固定されます。シートベルトにねじれがないことを確認して、可能な限りシートベルトをきつく締め付けるようにしてください。

また、本製品の使用、走行に伴いシートベルトはゆるみますので、適宜シートベルトの締め付け状態を確認してください。

警告

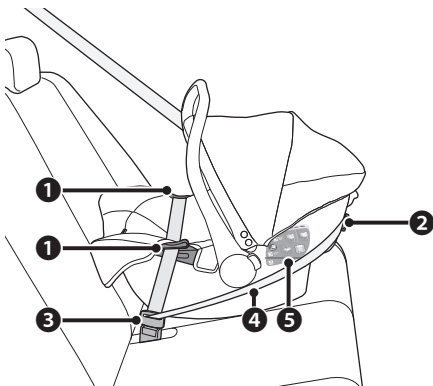
座席のリクライニング、前後調節にご注意ください

本製品を取り付けた後で、座席のリクライニングを調節したり、座席を前後に動かすと、取り付けがゆるむことがありますので、注意して操作してください。

11

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、正しい状態になるよう取り付けなおしてください。

また3点式シートベルトでの使用中には、適宜、正しい状態が維持されていることを確認してください。



チェックリスト

- ① シートベルトの腰ベルトが、左右の腰ベルトガイドに正しく通っていること。
- ② シートベルトの肩ベルトが、肩ベルトガイドに正しく通っていること。
- ③ シートベルトのバックルが正しく、しっかりと留まっていること。
- ④ シートベルトにねじれがなく、ゆるんでいないこと。
- ⑤ レベルラインが、地面に対して水平になっていること。

取り外しは、逆の手順で行います。取り外した本製品は、お子さまが乗っていない場合でも、そのままにせず、車外に出すようにしてください。

その他の使いかた

本製品は、チャイルドシートとして使用する他、以下の用途で使用することができます。いずれの使用方法でも、お子さまの乗せかたや、ご使用にあたっての注意事項はチャイルドシートとして使用する場合と同様です。お子さまは正しく調節されたハーネスでしっかりと固定してください。

ベビーキャリー

キャリーハンドルを、キャリーポジションにして使用します。

ロッキングチェア

キャリーハンドルを、ロッキングポジションにして使用します。

本製品の底面が固定されず、前後に揺らすことができます。

インファントチェア

キャリーハンドルを、チェアポジションにして使用します。

本製品の底面が固定されるので、お子さまを座らせる簡易的な椅子として使用できます。

ベビーカー用のシート

キャリーハンドルを、キャリーポジションにして使用します。

当社が指定する、Joie ベビーカーのシートとして使用することができます。

参照 P39 ▶キャリーハンドルの使いかた



警告

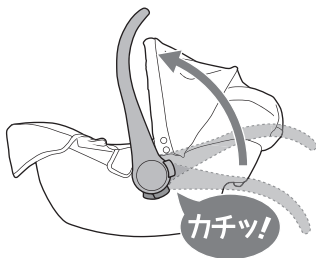
キャリーハンドルは確実に固定すること

どの用途で使用する場合でも、キャリーハンドルは確実に固定してください。キャリーハンドルが固定されていないと、本体が前後に回転し、お子さまに強い負担が掛かるばかりでなく、お子さまが本製品から落下し、重大な事故につながるおそれがあります。

ベビーキャリアとして使用する

01

キャリアハンドルをキャリアポジションに切り替えます。



参照 P39 ▶ キャリアハンドルの使いかた

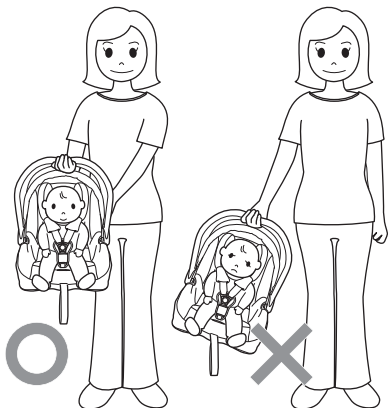
02

地面に水平になるように注意しながら、キャリアハンドルを片手でしっかりと握るか、またはキャリアハンドルに腕を通して肘に掛けて持ちます。

ゆっくりと持ち上げるようにしてください。

使用中は、地面に対して水平を保つようにしてください。

両手で持つこともできますが、この場合、本体を地面に対して水平を保つのが難しくなりますので、より注意するようにしてください。



警告

注意して使用すること

お子さまが落下したり、ケガをするおそれがありますので、大きく振ったり、揺すったりしないでください。

高所、不安定な場所、危険のある場所に置かないこと

落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。本製品を安定しない場所や高所に置かないでください。車の屋根の上に置く、ショッピングカートに乗せる、テーブルや椅子の上に置く、などしてはいけません。



注意

水平を保つように使用してください。

使用中は、地面に対して水平を保つようにしてください。

周囲に注意を払って使用してください。

狭い通路や、急な曲がり角、階段や段差のある場所、家具調度品のある室内では他のものや構造物に接触しないよう慎重に取り扱ってください。

走らないでください。

過剰な振動が加わると、最悪の場合にはお子さまが落下するおそれがありますので、本製品を持って走らないでください。

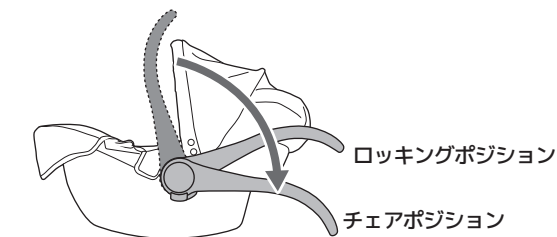
03

地面に置くときは、平らで安定した場所で安全を確かめてから、優しく置いてください。

ロッキング・インファントチェアとして使用する

01

キャリアハンドルを、ロッキングチェアとして使用する場合はロッキングポジションに、インファントチェアとして使用する場合にはチェアポジションに設定します。



参照 P39 ▶ キャリーハンドルの使いかた

ポイント!

ロッキングポジションでは、本体を前後に揺らすことができます。

チェアポジションでは、キャリアハンドルが接地して前後の揺れを止め、安定しますのでインファントチェアとして使用することができます。

02

ロッキングチェアとして使用する場合は、ゆっくりと優しく前後に揺らしてください。



⚠ 警告

大人の方の監視の下で使用すること

使用中は、お子さまを放置してはいけません。必ず大人の方が付き添うようにしてください。

ベッドとして使用しないこと

本製品は、就寝用のベッドとしての使用には適しません。お子さまの健康に重大な影響をおよぼすおそれがあります。

強く揺らさないこと

ロッキングチェアとして使用する場合、強く揺らさないでください。お子さまがぐずった場合、強く揺らしても効果が全くないばかりか、お子さまにとって過度の負担となるおそれがあります。

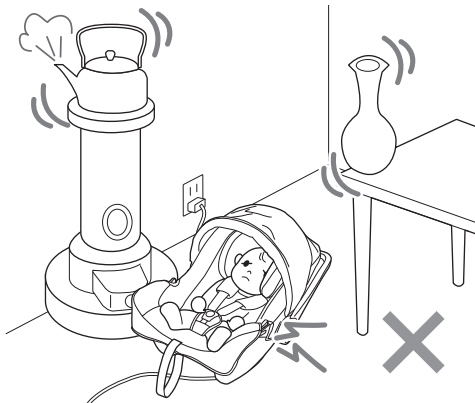
不安定な場所、高所では使用しないこと

本製品が落下したり、挟まったりして、重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を安定しない場所や高所に置かないでください。

危険のある場所では使用しないこと

重大な事故につながるおそれがありますので、暖房器具、コンセント、ドア、窓、階段の近く、落下すると危険な物の近くに本製品を置いて使用しないでください。

また、健康に悪影響を及ぼすおそれがありますので、暖房、冷房、扇風機などの風が直接お子さまにあたる場所でも使用しないでください。



⚠注意

連続して長時間使用しないこと

お子さまの健康のため、長時間にわたる連続使用は避けてください。特に、ロッキングを長時間続けると、乗り物酔いと同様、お子さまの気分が悪くなるおそれがあります。

また、おう吐のおそれがありますので、授乳直後、食事直後の使用は避けてください。使用中は、常に大人の方が付き添い、お子さまの様子を確認するようにしてください。

ベビーカー用のシートとして使用する

本製品は、当社が指定するベビーカーに取り付けて、ベビーカー用のシートとして使用することができます。

⚠警告

当社が指定するベビーカー以外に取り付けて使用してはいけません

本製品対応外のベビーカーに取り付けると本製品が落下して思わぬ事故につながるおそれがあります。

Joie 製品でもすべて対応するとは限りませんので、あらかじめご確認ください。

ベビーカーに二人以上のお子さまを乗せないこと

ベビーカーに本製品を取り付けても、ベビーカーの乗員数は変わりません。

ベビーカーを正しく使用すること。

本書と併せて、必ず、ベビーカーの取扱説明書をご確認ください。

確認・準備

01

お使いのベビーカーが、本製品に対応していることを確認します。

02

ベビーカーの取扱説明書を確認して、ベビーカーが動かないようにブレーキをかけます。

⚠注意

ブレーキ（ストッパー）をかけておくこと

操作中にベビーカーが突然動き思わぬ事故につながるおそれがあります。あらかじめベビーカーの取扱説明書を参照して、ブレーキ（ストッパー）をかけておいてください。

03

ベビーカーの背もたれがリクライニング可能な場合は、リクライニングを最も倒した状態にしておいてください。リクライニングが立った状態では本製品は取り付けできません（一部の機種を除きます）。

以下のベビーカーの場合は、リクライニングを立てた状態で本製品を取り付けます。

（Joie ベビーカー）

ライトトラックス/ライトトラックス エア/ライトトラックス 4 /ライトトラックス 4E

 **ポイント！**

ソフトパッドが装備されているベビーカーの場合、ソフトパッドをあらかじめ取り外しておいた方が、取り付け操作がしやすくなります。

Joie ベビーカーへの取り付けかた

本製品は、トラベルシステムに対応した次の3種のタイプのベビーカーに取り付けることができます。ご使用のベビーカーのタイプをご確認の上、適応する取り付け方法をご参照ください。

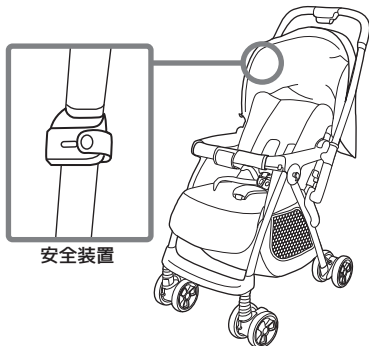
【A】トラベルシステム対応安全装置タイプ

【B】トラベルシステム対応トレイタイプ

【C】トラベルシステム対応セイフティガードタイプ

【A】トラベルシステム対応安全装置タイプ

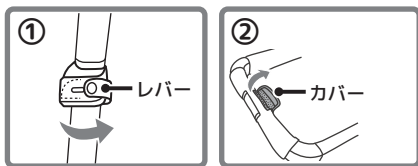
ベビーカーのハンドルパイプに「安全装置」が装備されているタイプ。



01

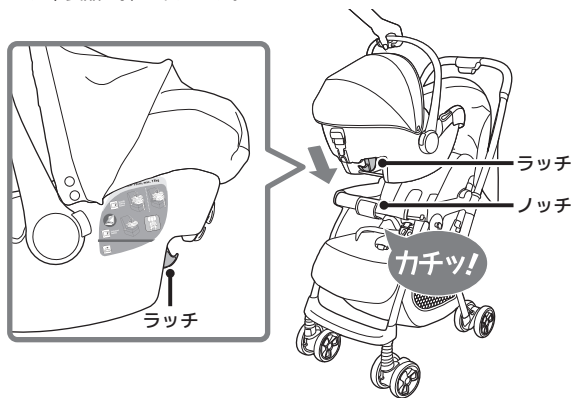
①ベビーカーの安全装置のレバーを回してツメを収納してください。

②ベビーカーのガードの面ファスナーを開けます。



02

本製品の背面のラッチと、トラベルシステム対応セイフティガードの端にあるノッチの位置を合わせ、ゆっくりと本製品を降ろし、カチッと音がしてラッチとノッチが固定されるまで、本製品を押し下げます。



本製品を軽く動かして、ラッチがセイフティガードのノッチに噛みこんでいるか確認します。

この時点では、ラッチ部分のみでの固定ですので、本製品はまだ完全には固定されていません。軽く動かすだけにしてください。

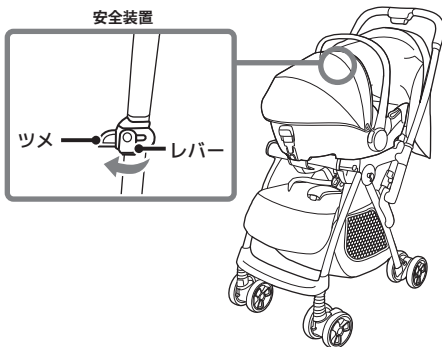
⚠️ 注意

強く動かさないこと

まだ完全には固定されていないので、強く動かさないでください。ベビーカーのセイフティガードが破損するおそれがあります。

03

安全装置のレバーを回してツメを出してください。

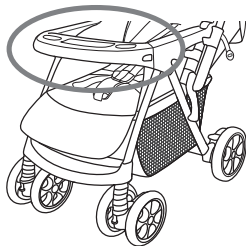


04

本製品を軽く動かして、しっかりと固定されていることを確認します。

【B】トラベルシステム対応トレイタイプ

トラベルシステムに対応しているトレイを装備し、かつ、トラベルシステム対応のストラップタイプ。

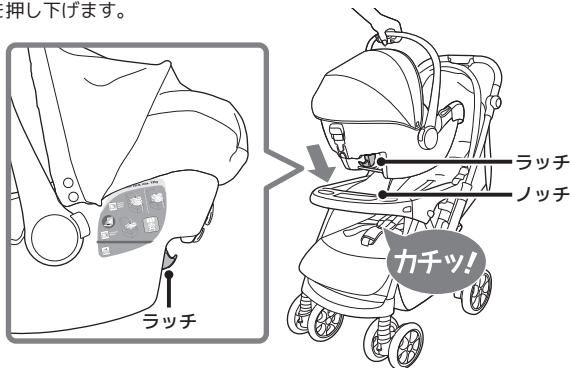


01

本製品をベビーカーの進行方向に対して後ろ向きにして、ベビーカーの上に持っていきます。

02

本製品の背面のラッチと、トラベルシステム対応トレイの端にあるノッチの位置を合わせ、ゆっくりと本製品を降ろし、カチッと音がしてラッチとノッチが固定されるまで、本製品を押し下げます。



本製品を軽く動かして、ラッチがトレイのノッチに噛みこんでいるか確認します。この時点では、ラッチ部分のみでの固定ですので、本製品はまだ完全には固定されていません。軽く動かすだけにしてください。

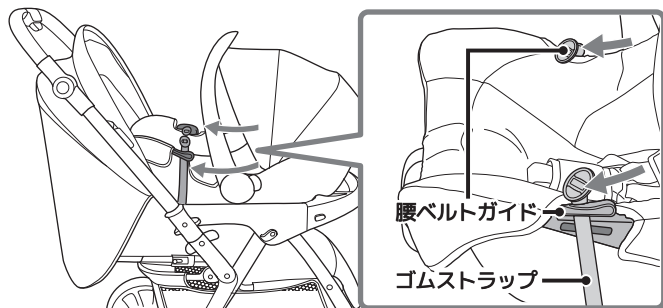
⚠注意

強く動かさないこと

まだ完全には固定されていませんので、強く動かさないでください。ベビーカーのトレイが破損するおそれがあります。

03

ベビーカーのフレーム左右にある、ゴムストラップを、それぞれ本製品の腰ベルトガイドに通して、本製品を固定します。



04

本製品を軽く動かして、しっかりと固定されていることを確認します。

【C】トラベルシステム対応セイフティガードタイプ

トラベルシステムに対応しているセイフティガードを装備し、かつ、トラベルシステム対応のストラップタイプで、セイフティガードにカバーのないタイプと、カバーの付いたタイプがあります。



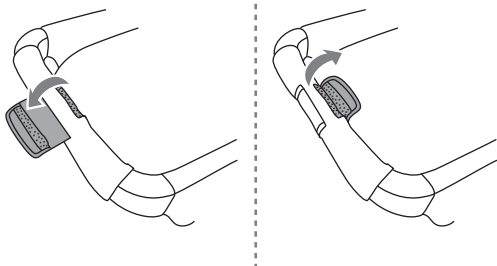
カバー無しタイプ



カバー付きタイプ

01 カバー付きタイプのみ必要な操作です

カバー付きタイプの場合、セーフティガードのカバーの面ファスナーを開けておきます。

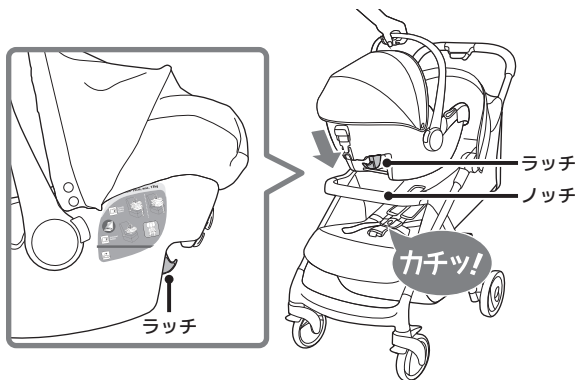


ポイント！

カバー付きタイプは2種類あります。図を参照して面ファスナーを開けてください。

02

本製品の背面のラッチと、トラベルシステム対応セーフティガードの端にあるノッチの位置を合わせ、ゆっくりと本製品を降ろし、カチッと音がしてラッチとノッチが固定されるまで、本製品を押し下げます。



本製品を軽く動かして、ラッチがセーフティガードのノッチに噛みこんでいるか確認します。

この時点では、ラッチ部分のみでの固定ですので、本製品はまだ完全には固定されていません。軽く動かすだけにしてください。

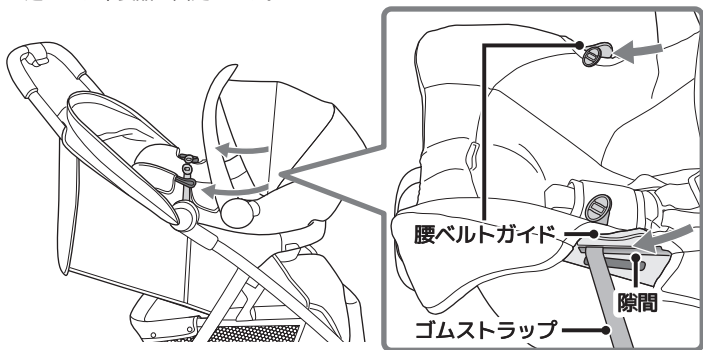
⚠注意

強く動かさないこと

まだ完全には固定されていませんので、強く動かさないでください。ベビーカーのセーフティガードが破損するおそれがあります。

03

ベビーカーのフレーム左右にある、ゴムストラップを、それぞれ本製品の腰ベルトガイドに通して、本製品を固定します。



04

本製品を軽く動かして、しっかりと固定されていることを確認します。

Joie ベビーカーからの取り外しかた

ベビーカーの取扱説明書を参照して、ベビーカーのブレーキを掛けておきます。

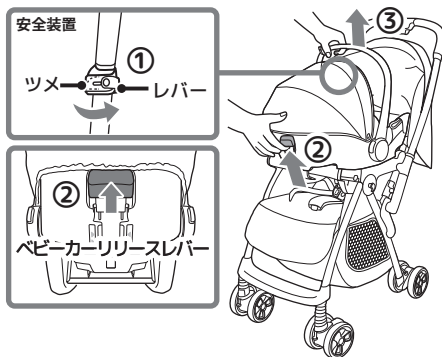
⚠注意

ブレーキ（ストッパー）を掛けること

取り付け時と同様に、作業中にベビーカーが突然動かないよう、必ずブレーキ（ストッパー）を掛けてください。

【A】トラベルシステム対応安全装置タイプ

①安全装置のレバーを回し、②ベビーカーリリースレバーを引き上げて、ラッチを外して、③本製品を垂直に持ち上げてベビーカーから取り外します。

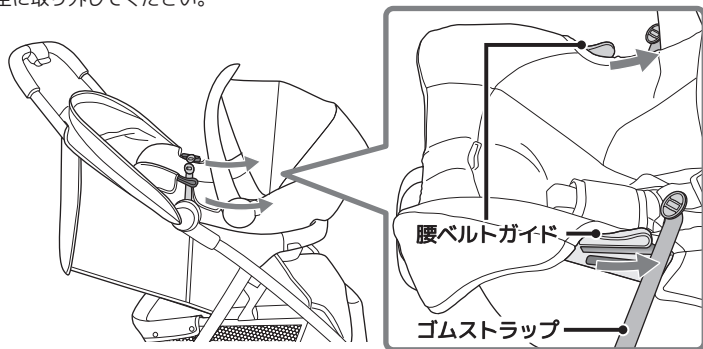


【B】トラベルシステム対応トレイタイプ

【C】トラベルシステム対応セイフティガードタイプ

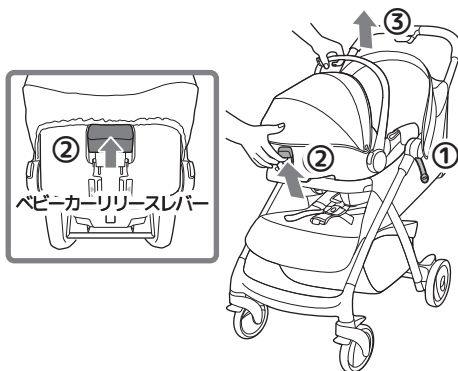
01

左右の腰ベルトガイドから、ベビーカーのゴムストラップを取り外します。左右とも完全に取り外してください。



02

①左右のゴムストラップが外れている事を確認します。②ベビーカーリリースレバーを握り、ラッチを外して、③本製品を垂直に持ち上げてベビーカーから取り外します。



ポイント！

イラストは、トラベルシステム対応セイフティガードタイプですが、トレイタイプでも操作内容は同様です。

お手入れのしかた

本製品のお手入れ

本製品は、お手入れのため、キャンピー・シートカバー・ハーネスパッド・ヘッドサポートを取り外すことができます。

お手入れ後は、取り外したシートカバー・ハーネスパッド・ヘッドサポート、を必ず取り付けなおしてください。

※キャンピーは、取り外した状態でも使用することができます。

警告

シートカバー・ハーネスパッド・ヘッドサポートを外して使用しないこと
チャイルドシートとして所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本取扱説明書で別段の指示がない限り、部品を取り外して使用しないでください。シートカバー・ハーネスパッド・ヘッドサポート・ウレタン・衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので、決して取り外して使用しないでください。また、同様に本製品に貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので、決してはがさないでください。

シートカバーなどを外した状態の本製品は、お子さまの手の届かない場所に置いておくこと

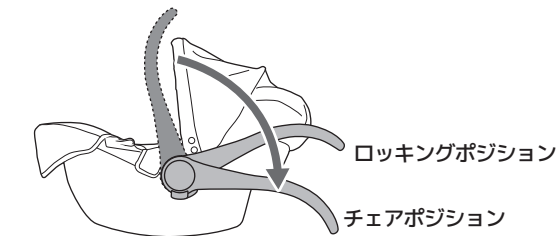
お子さまが本製品の内部機構に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。お手入れ等のため、シートカバー・ハーネスパッド・ヘッドサポート・ボディサポートを取り外したら、取り付け直すまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

内部機構に手を加えないこと

シートカバーを取り外すと、内部機構が見える状態になります。ハーネスの機構や、その他の機構に手を加えたり、触らないようにしてください。また、内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、ビニール袋を被せるなどして保護しておいてください。

準備

以下の操作において、キャノピー・シートカバー・ハーネスパッド・ヘッドサポートを取り外します。これらの殆どの操作において、キャリアハンドルはチェアポジションまたはロッキングポジションに調節しておくことで操作がしやすくなります。必要に応じて、操作しやすいポジションに調節してください。



参照 P39 ▶ キャリーハンドルの使いかた

キャノピーの取り外し

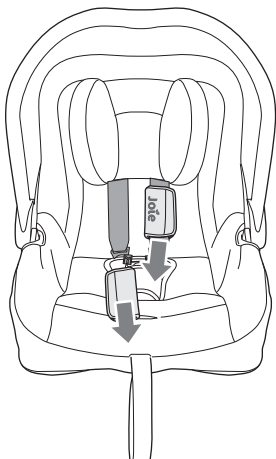
「キャノピーの使いかた」を参照してキャノピーを取り外します。
キャノピーを取り外さないと、シートカバーの取り外しはできません。

参照 P40 ▶キャノピーの使いかた

ハーネスパッドの取り外し

01

ハーネスパッドは、肩ベルトに差し込まれています。バックルを外し、ハーネスパッドを引き抜いてください。左右とも同じようにしてください。

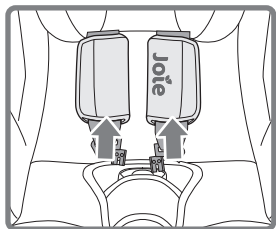


02

取り付ける場合は、ハーネスパッドを肩ベルトに差し込みます。ハーネスパッドには向きがありますので、右図を参照して取り付けてください。

⚠危険

ハーネスパッドを取り付けなおすこと
ハーネスパッドを外した状態では使用できません。



👉ポイント!

ハーネスパッドは、縫い目のない側を内側（お子さまの首側）にして取り付けます。

シートカバー・着脱式クッション・ヘッドサポートの取り外し

取り外しは、一連の操作で行います。

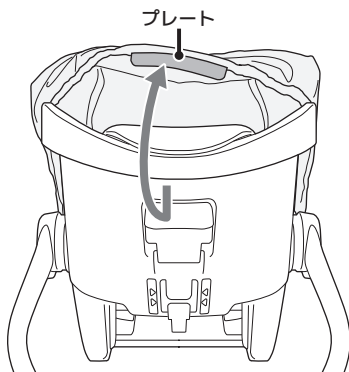
警告

衝撃吸収フォームにキズを付けたり、取り外したりしないこと

本体の背もたれ部に取り付けられている衝撃吸収フォーム（発砲ウレタンフォーム）は、本製品の安全に関わる重要な部品です。本製品が安全に機能しなくなりますので、衝撃吸収フォームにキズを付けたり、取り外したりしないでください。

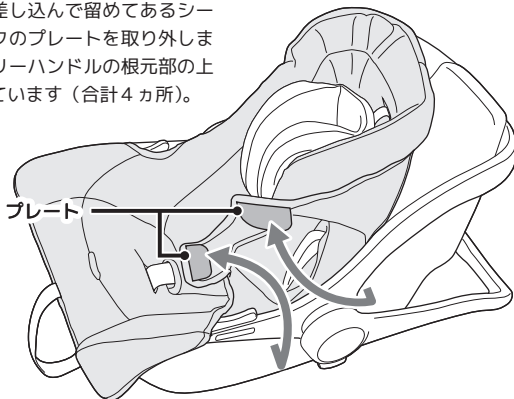
01

本体の後面に差し込んで留めてあるシートカバーのプラスチックのプレートを取り外します。



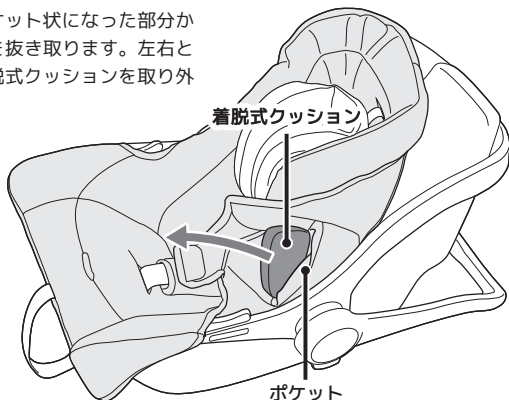
02

本体の左右側面の縁に差し込んで留めてあるシートカバーのプラスチックのプレートを取り外します。左右それぞれキャリーハンドルの根元部の上下あたりに差し込まれています（合計4カ所）。



03

シートカバー内側のポケット状になった部分から、着脱式クッションを抜き取ります。左右とも同じようにして、着脱式クッションを取り外してください。



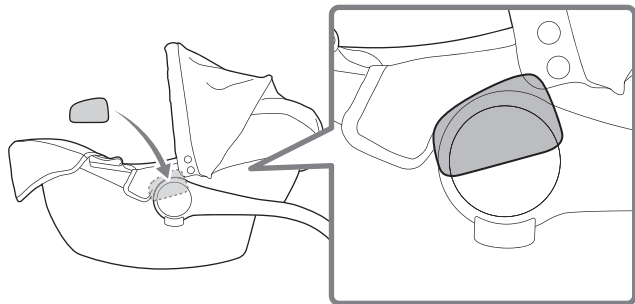
⚠注意

着脱式クッションを取り外すこと

着脱式クッションは、洗濯することができません。お手入れの際には、シートカバーから着脱式クッションを必ず取り外して、お子さまの手の届かない場所で保管しておいてください。

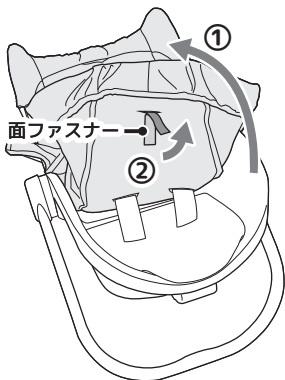
👉ポイント！

着脱式クッションには向きがあります。取り付ける場合は、下図を参照して向きを確認して、シートカバー内側のポケット部分に差し込んでください。左右とも同じようにしてください。



04

①シートカバーを後方からめくって、シートカバーの裏側に留めてある②ヘッドサポートのベルトの面ファスナーを外します。



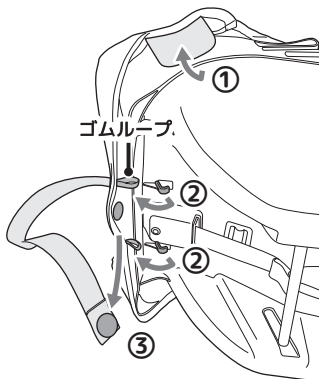
05

①ヘッドサポートを抜き取り、②左右の肩ベルト（差込みタング）を通し穴からシートカバーの裏側に抜き取ります。



06

①本体先端部の左右側面の縁に差し込んで留めてあるシートカバーのプラスチックのプレートを取り外します（左右とも外してください）。②本体先端の裏側にある2カ所のフックに留めてある、シートカバーのゴムループを取り外します（2カ所とも外してください）。③シートカバーの先端裏側に留めてある、アジャスターベルトの面ファスナーを外しておきます。

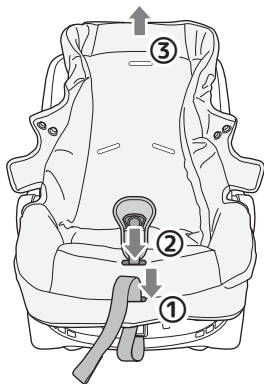


07

①シートカバー先端の通し穴からアジャスターベルトを抜き、②受けバックル（股ベルト）を、股ベルトカバーとシートカバーの通し穴から裏側に抜き取ります。③シートカバーを本体から取り外します。

ポイント！

股ベルトカバーは、シートカバーに縫い付けられていますので、取り外しはできません。シートカバーと同時にお手入れしてください。



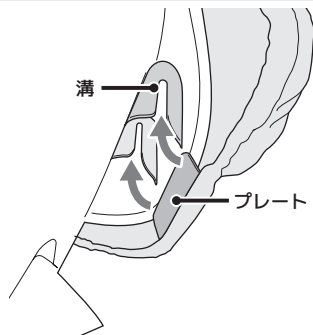
08

取り付けはそれぞれ逆の手順で行います。

 **ポイント!**

シートカバーを取り付ける際には、シートカバーのプラスチックのプレート（左右合計6カ所および後部1カ所）は、本体の差し込み部分の溝（U字部）に差し込むようにして取り付けてください。

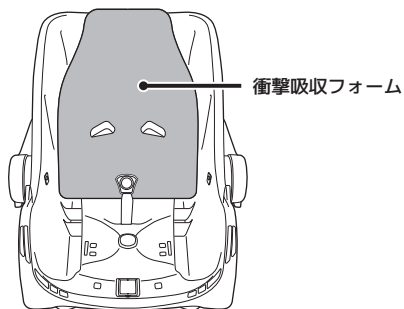
図は、後部を例示したのですが、他の部位も構造は同様となっております。各溝にそれぞれプレートを差し込んでください。



 **警告**

衝撃吸収フォームにキズを付けたり、取り外したりしないこと

本体背面に取り付けられている衝撃吸収フォームは、本製品の安全に関わる重要な部品です。本製品が安全に機能しなくなりますので、衝撃吸収フォームにキズを付けたり、取り外したりしないでください。



汚れの落とししかた

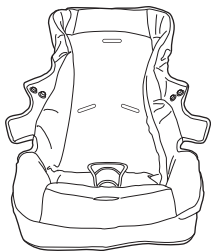
⚠注意

除菌製品の成分にご注意ください

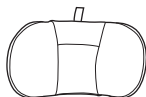
除菌関連の製品は、含まれる成分によっては、本製品の縫製部品、樹脂に影響を与える可能性があります。使用の可否については、除菌関連製品の製造メーカーにお問い合わせください。

01 ▶シートカバー・ヘッドサポート・ハーネスパッド

取り外したシートカバー・ヘッドサポート・ハーネスパッドは、以下の方法で汚れを落とすとしてください。



シートカバー



ヘッドサポート



ハーネスパッド

⚠注意

着脱式クッションは洗濯できません

お手入れの際には、シートカバーから着脱式クッション（左右）を両方とも取り外しててください。

本製品の縫製部品に縫い付けられている洗濯ラベルの記載内容を確認してください。

- 30℃以下の液温で洗濯機で洗うことができます。
- 軽く絞って、形を整え、吊り干ししてください。
- よく乾かしてから取り付けしてください。

👉ポイント！

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落とすとしてください。

⚠注意

漂白しないでください

劣化を早め、変退色の原因となりますので、漂白しないでください。漂白剤、蛍光剤の入った洗剤を使用しないでください。

アイロンは使用しないでください

変退色、破損の原因となります。

タンブラー乾燥はしないでください

破損、縮みの原因となります。

乾燥機は使用しないでください。

有機溶剤を使用しないでください

ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、破損のおそれがあります。

ドライクリーニングはできません

商業クリーニングは使用しないでください。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形、しわの原因となります。

02 ▶キャノピー・着脱式クッション

キャノピー、着脱式クッションは洗濯することができません。変形、変質するおそれがありますので、水に浸さず、ブラシで汚れを落とすか、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。

着脱式クッションは、含まれる成分によっては、変質、溶解するおそれがありますので、洗剤類等は使用せず、真水のみでお手入れしてください。

03 ▶樹脂部分

樹脂部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

絶対に潤滑剤を使用しないこと

油類等の潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

⚠注意

ウェットタオル（ウェットティッシュ）は使用しないでください

市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）や赤ちゃんのおしりふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。

含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

04 ▶衝撃吸収フォーム

本体背面に取り付けられている衝撃吸収フォームは、取り外さないでください。お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤は使用しないでください。

⚠警告

洗剤、薬剤は使用しないこと

衝撃吸収フォームは、シンナー、ガソリン、ベンジン等の有機溶剤が付着すると容易に溶解します。これらの成分が含まれているおそれがありますので、洗剤類や薬剤はお手入れに使用しないでください。また、市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）、おしりふきも含まれる成分によっては悪影響をおよぼすおそれがありますので使用しないでください。

05 ▶金属部分

金属部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合（バックルは除きます）には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

⚠危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

絶対に潤滑剤を使用しないこと

油類等の潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

06 ▶ハーネス（ベルト類）

ハーネス、アジャスターベルト、股ベルトは取り外しできません。

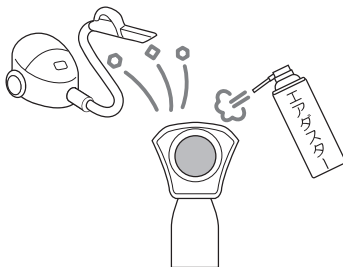
お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

07 ▶バックル

バックルは、取り外しできません。

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



i-Base lx2（別売）のお手入れ

必ず i-Base lx2 の取扱説明書をあわせて確認し、正しくお手入れしてください。

危険

潤滑剤、有機溶剤、原液の洗剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤、ガソリンなどの有機溶剤、原液の洗剤を絶対に使用しないでください。これらが付着すると、変質、破損して、安全に機能しなくなるおそれがあります。

01 ▶ ISOFIX コネクター・サポートレッグ・マウント

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用してゴミやほこりを吹き飛ばすか、掃除機を使用して吸い取るようにしてください。

危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

絶対に潤滑剤を使用しないこと

他の部位のお手入れにおいても油類等の潤滑剤は使用できませんが、特に、ISOFIX コネクター、サポートレッグ、マウントに潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

ポイント！

ISOFIX コネクターおよび、自動車の ISOFIX 固定装置は常に清潔を保つようにしてください。

02 ▶ 樹脂部分

樹脂部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

絶対に潤滑剤を使用しないこと

油類等の潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

注意

ウェットタオル（ウェットティッシュ）は使用しないでください

市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは、樹脂部分のお手入れに使用しないでください。

含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

03 ▶ 金属部分

金属部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

絶対に潤滑剤を使用しないこと

油類等の潤滑剤は使用できません。潤滑剤を使用すると、大変危険です。絶対に使用しないでください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合、i-Base lx2 を自動車から取り外しておいてください。

i-Base lx2 上面のチャイルドシート用のマウントにほこりが付着したり、汚したりしないように、長期間ご使用にならない場合には、i-Base lx2 の上にカバーなどを被せておいてください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時も本製品のバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のアたる場所、露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示し、シートカバーを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	Joie チャイルドシート アイ・ジューバ		
お買い上げ日			
お客様	ご住所	お買い上げ	店名
	〒	販売店名	住所
	お名前		電話番号
	電話番号		

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げ日いただいた販売店名が不明の場合保証の対象なりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

- 保証期間中に正常な使用状態において、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
- 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です） および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・お客様ご自身が、本製品を新品でご購入されたことを証明できない場合

- ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合
 - ・正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ベルト類等縫製品のほつれの場合
 - ・部品の紛失の場合
3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。
- ・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
 - ・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・中古品の場合
 - ・本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※仕能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(Joie日本総代理店)

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シート等を貼り付けてください

Allison Baby UK Ltd,
Venture Point, Towers Business Park
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ

Joie™

bring the kids™
Share the joy at Joiebaby.com

2210RV1